乙女たちの戦車道ライフをサポートする専門誌

月刊 戦車道

第63回
戦車道
全国高校生大会
増刊 第3号



人気特集
勢いならどこにも負けない
アンツィオ高校ほか注目校を徹底解説！
ライバルチーム研究

かわいい豆戦車の実力に迫る！
不肖・秋山優花里の
戦車講座

巻頭特集 戦いの裏にあった秘話を大公開
グラフィック イン アクション

好評連載中 二回戦に挑むダージリンたちの相手とは!?
聖グロリアーナ女学院[神奈川]X黒森峰女学園[熊本]への道〈第3回〉

発売直前のOVA&ゲームをピックアップ
ガルパン トピックス

関係者が熱く語るガルパンへの想いをお届け
プロジェクトG~ガルパンを支えた人びと~

優勝校メンバーの意外な素顔に着目
大洗女子[茨城]チームメンバー 戦車愛を語る

大洗女子チーム[茨城]の日常

グラフィック イン アクション
GRAPHIC IN ACTION

ここから始まるアヒルさんチームの活躍

全国大会一回戦、サンダース大学付属に無線傍受されていると知ったみほは、偽の情報を流して相手をジャンクションに誘導する。そこで囮役として活躍したのが、アヒルさんチームであった。

彼女たちは、戦車で材木を引きずり土煙をあげることで、相手に大洗女子の全車輌が逃走中と錯覚させることに成功。大洗女子が先手を取るきっかけを作った。だがこのあと、アリサのフラッグ車と鉢合わせするとは、予想もしていなかった。





第3回

ライバルチーム研究

今回は、全国大会二回戦で大洗女子と死闘を繰り広げたアンツィオ高校をクローズアップ。またBC自由学園やヨーグルト学園も合わせて紹介。その知られざる実態と実力をくわしくレポートしてみよう。

アンツィオ高校

Anzio Girls' High School

内陸部にある栃木県の学校で、静岡県の清水港を母港として借りている。そのため栃木県のみならず、静岡や愛知からも入学する生徒が少なくない。学校の初代校長は、19世紀末に来日したイタリア人商人のマリオ・ポーロ。日本とイタリアの間の貿易を行っていたマリオは、その後イタリアの文化を日本に紹介するために学校を設立した。彼はマルコ・ポーロの末裔と自称して、その縁もあって日本に来たと語っているが、真偽のほどは定かではない。学校を設立した当時、陸上に土地を取得できなかったので旧式の帆船を借り上げて校舎とした。そのため、ヴェネツィアで使用されていた学園艦をモデルにしたと称し、日本で最初の学園艦だと主張した。だが、幕末にはすでに幕府や一部の藩において学園艦が建造されており、また坂本商会などを中心に商船改造の学園艦を使用していたので「外国人が日本に作った最初の学園艦」という扱いになっている。

それはともかく、現在使用されている学園艦はポーロの意思を尊重し、コロッセオやトレヴィの泉、パンテオン、スペイン広場などイタリアの名所を模した建築物が多数作られており、テーマパークのようになっている。そのため観光目的で学園艦を訪れる人間も多く、予算がつねに不足気味の同校では、学校を上げて生徒たちがさまざまな露店を営業している。それらは生徒や学園艦の住人たち以外に、観光客からも好評を博しており、結構貴重な財源となっている。こうした露店で販売している食べ物は、大部分が校内で収穫された作物を使っており、原材料費は安く抑えられている。また人件費は生徒たちが「自主的に」やっているという建前なので、味とボリュームの割には価格が安く、人気の原因にもなっている。こうした屋台や露店で修行を続けた生徒のなかには、料理の腕が在学中に向上し、また本人も興味を持ったため、卒業後は料理方面に進む者も少なくない。

以前は戦車道も活発であったが、資金不足と豆戦車や軽戦車、自走砲しか保有車輌がなく、なかなか勝てないこともあり、次第に下火になっていった。だが近年戦車道は、再び活発化して来ている。豆戦車のCV33(L3/33)は予備車輌も含め、保有台数の半分以上を占めている。また改良型のCV35、CV38も少数ながら存在する模様。これら車輌の主武装は8ミリ機関銃だが、一部には20ミリ対戦車ライフルを装備したタイプもある。ただし機動性が悪化した模様で、機動力を重視する同校では積極的には用いられていない。ほかに、自走砲のセモヴェンテda75/18が火力の主力となっており、さらなる攻撃力を求めて、セモヴェンテda75/34の導入を検討している。少ない予算はP40重戦車の購入に優先されているが、同様により強力な90ミリ砲搭載の、da90/53を購入するという案も出ている。ただし、どのように密閉式戦闘室にするか、またわずか6発しか砲弾が搭載できない装弾数をどう増やすのか。そのうえ、改造したda90/53に戦車道連盟の認可が下りるかが不明で、戦力的には間違いなく強力でコスト的にも安くても、購入には踏み切れていない模様。最近、念願のP40重戦車を一輌購入。今後は戦力の中心になる可能性がある。そうなると次は、同じ砲を搭載したセモヴェンテda75/34を揃えれば、火力的には多少向上するのでは、と考えられている。ほかにはM13/40中戦車を数台保有しているが、なかなか稼働状態にはいたらない模様。エンジンが強化されてM14/41相当に改造された車輌もあるようだが、大会にエントリーしていないので詳細は不明である。CV33などは、もともと通信機が搭載されていない車輌が多かったが、連盟の規則に従って全車無理やり通信機を搭載している。

学校の気風としては、他校からもノリと勢いだけと言われるように、調子に乗りやすく、陽気であまり細かい事を考えない。くよくよせず人生を謳歌し、目の前の楽しみに全力を尽くす。とくに食事と宴会には命を

アンツィオ高校の選手たち



ペパロニ

栃木県益子町出身、9月12日生まれの16歳。血液型はA型で、好きな食べ物はナポリタンである。CV33が好きで、試合では自ら乗車している。また両親のほか、兄と姉、弟2人と大家族でもある。日課は屋台での料理で、その味は折り紙つき。アンチョビの元で、副隊長を務める

カルパッチョ

12月19日生まれの16歳。茨城県つくば市出身で、血液型はAB型である。好きな食べ物はラザニアで、フリークライミングを日課としている。家族は両親のほか、弟がいる模様。好きな戦車はセモヴェンテである。チームでは副隊長を務めており、冷静な判断でアンチョビを補佐している





アンチョビ

愛知県豊田市出身、9月23日生まれの17歳。血液型はB型で、趣味は恋愛小説を読むこと。学校の女子寮に住んでおり、成績は中の上くらい。好きな科目は美術で、物理が苦手。ボンゴレやパンナ・コッタ、カプチーノが好きで、座右の銘は「鉄は熱いうちに打て」である

第63回戦車道全国高校生大会を盛り上げた

アンツィオ高校の使用戦車








P40型重戦車

ソビエト・T-34戦車の影響を受けて、初めて傾斜装甲を採用したイタリアの戦車。開発は1940年より始まったが、エンジン生産が遅れ、1943年9月の休戦までに21輌しか完成しなかった。だが、装備された34口径75ミリ砲は、連合国の中戦車に対抗できる、有効な武装であった。休戦後はイタリア社会共和国で生産が続けられ、一部はアンツィオの戦いに参加した







M41型セモヴェンテ（自走砲）

車高の低さと強力な火力で成功した、ドイツのIII号突撃砲に刺激されたイタリアは、M40型セモヴェンテを開発。そのエンジンを大型化したものが、M41型セモヴェンテである。参考にしたIII号突撃砲と違い、単純な箱型の戦闘室が特徴。18口径75ミリ砲と成形炸裂弾の組み合わせで、優れた対戦車能力を発揮したことから、イタリア将兵から高い評価を得ていた







CV33型快速戦車（L3/33）

1933年に完成した、イタリアの豆戦車。初期生産型の武装は、6.5ミリ機関銃1丁だけだったが、後に8ミリ機関銃二丁へと改良された。装甲厚は最高で14ミリと薄いが、低い車高と優れた機動力を活かして、偵察任務や治安維持活動に貢献。だが対戦車戦では、貧弱な武装や薄い装甲がたたり、ほとんど活躍できなかった。実際に北アフリカ戦線などでは、連合国戦車の相手にならなかった





アンツィオ高校の隊長は、楽天的な仲間の性格を把握し、勝利を目指すことが求められているようだ

懸けているのではと思われるほど、妥協を許さない。またやれる隙さえあれば、後先を考えずに本気の宴会を行う。なかには生真面目な生徒もいるが、在学中に校風に染まっていくのが普通な模様。

食べ物は非常に多彩だが、とくにパスタは学校名物でもあり、自慢にしている。また、海産物も積極的に食べるため、その目的で母港を清水港にしたのではという冗談も出るほどである。

BC自由学園の使用戦車


オチキスH-39

　もともとは岡山県津山市を陸上の登録拠点としているBC高校と、岡山市の自由学園という別々の学校であった。だが双方の学園艦が老朽化して新造艦を造船する際に、同じ県の学校という理由で行政側の指導により統合されBC自由学園となった。そのため、学園内は旧BC高校側と旧自由学園側の人間で主導権争いが続けられており、極めてまとまりが悪い。本来、両校ともマジノ女学院が良質なワイン造りの原料となるブドウを求めて、その栽培のために岡山に作った学校が元となっている。自由学園周辺ではブドウ栽培が成功し、徐々に規模が大きくなっていったので、栽培地域も次第に拡大していった。対してBC高校周辺地域ではブドウ栽培がうまく行かず、ほかの道を模索する必要があった。そこで、生徒獲得のために普通科や商業科に力を入れた。一方、ブドウ栽培に成功した自由学園は、基礎となっている農業科だけではなく、次第に工業科、そして家政科に力を入れ、学校を拡大していった。行政側としては、主力となっている科が異なるので、一つの学校になればより魅力が増えて生徒も増加すると踏んだのだろうが、結果的には学内での主導権争いと反目がひどくなるだけの大失敗であった。しかも学園艦内は、左舷側が旧自由学園、右舷側が旧BC高校という区分けになっており、学内商店街や住宅も分れているほどである。それでも統合して時間が経っているので、一般生徒のなかには気にしない層が増えているのも確かである。

　戦車道では二つの学校が合わさったために、雑多な戦車を保有している。おもに使用している車輌は、軽戦車のオチキスH-39、中戦車はソミュアS-35、M4A2シャーマン、パンターG型である。また、超重量級多砲塔戦車であるFCM F1を保有しているが、実戦には参加したことはない。そのため非稼働状態にあるか、旧式で実用性が無いために使用されていないと考えられている。また、最近はバレンタインMk.V歩兵戦車を入手したが、これも同じく運用に苦慮している模様。と言うのも、BC高校側では防御主体のマジノ女学院に対抗して、ナポレオン時代から続く練度の高い騎兵部隊(のちに快速戦車部隊に発展する)を集中運用し、その速度と突破力で敵を粉砕するという戦術、いわば機動戦を採用していた。一方自由学園側は、機動戦には優秀な指揮官と生徒たちの高い士気と練度が必要と考えていた。また、一度目論見が誤った瞬間に全車壊滅する危険性があるとしてBC高校側の戦術は採用せず、マジノ女学院同様の防御戦術を得意としていた。FCM F1やバレンタイン歩兵戦車は、そのための車輌であろう。だが、どちらの戦術を行うにしても、もう一方が足を引っ張るので、保有している戦車がそんなに悪くない割には結果を出せていない。マジノ女学院や提携校からの支援があれば、学内の派閥も変化すると思われるが、そちらからの支援はなく、むしろ黒森峰、サンダース大学付属、聖グロリアーナなどへ接近している。ただし、どこの学校も同様の申し出が多いので、あまり本気にはしていない。

　生徒たちの気質は、マジノ女学院に近いところがある。全体的に教育熱心で、とくに女子の教育に力を入れており、良妻賢母を育てる(という触れ込みの)戦車道には大変熱心である。

オチキスH-39

フランスのオチキス社が開発した、騎兵用戦車シリーズ(H-35、H-38)の最終型。1933年、歩兵支援用の軽戦車開発をルノー社と争ったオチキス社はH-35を製作。先んじて新型車輌を開発したルノー社に敗れたものの、騎兵用戦車として採用された。その後H-35は、長砲身37ミリ砲と新型エンジンを搭載したH-39へと改良。騎兵科部隊に配備された

写真提供：グランドパワー(ガリレオ出版)

ヨーグルト学園

Yogurt Academy

ヨーグルト学園の使用戦車



38(t)戦車

群馬県の学校で、千葉県の木更津を母港としている。名前の通り、ブルガリアから技術導入したヨーグルトを中心とした乳製品の生産に力を入れており、そのため畜産科の生徒が一番多い。ついで農業科の生徒が多く、これらの学生は農業用トラクターなどの運転に慣れていることもあり、戦車道履修者はこの二つの学科に所属している者がほとんどである。また、農業科ではバラの栽培に力を入れており、生徒たちはよく制服にバラを飾っている。保有車輌はもともとCV33と38(t)戦車の各タイプ、また訓練用としてオチキスH-39があり、豆戦車と軽戦車を組み合わせた快速戦術が基本。ただし、積極的に攻勢へ出るのではなく、どちらかというと防御中心。タイミングを見て反撃に出るのを好むが、これまでの試合では攻勢に転ずる機会を逸して敗北することが多かった。そこで軽戦車や豆戦車で防御戦は難しいと考えたのか、近年どこからかⅢ号突撃砲F/G型、Ⅳ号戦車G/H型、ヘッツァー、Ⅳ号駆逐戦車/L70、そしてパンターD/G型を入手。戦力の拡充を図り、他校を驚かせた。これら新たに入手した車輌は、例えばⅢ号突撃砲ならF/G型となっているように、ベースとなった車台はF型と推定されるが、戦闘室形状はG型相当であった。また、Ⅳ号戦車も正面装甲が80ミリ厚の1枚装甲で新型起動輪などが採用されているが、変速機が従来通りのZF SSG76を搭載。ほかにもさまざまなタイプの部品が使用されていて、今一つ形式が判然としない。通常そういった場合、戦車道連盟は車輌登録の際にシャシーナンバーで判断するのだが、記録台帳に載っていないナンバーであったので、便宜的にG/H型などと呼称している。おそらくこれらは、スクラップなどからパーツを寄せ集めて作られた再生車輌だと思われる。ただし、後世の複製パーツではなく、主要な構成部品は連盟の基準を満たしたものを使用していたので、問題なしとして登録が行われた。こうした再生車輌であってもバランスの取れた優秀車輌が揃っており、一部の戦車道評論家からは運用と練度の向上次第で、今後は台風の目になるのではとの意見も出ている。ただ、これらの車輌をどこから入手したかが大きな話題になっており、一時は車輌のラインナップから黒森峰から支援を受けたのではと思われた。だが黒森峰側の否定により、優秀な戦車の入手に苦慮している他校は新たな入手ルートの可能性を受け、調査を行っているという。もっとも同校には、戦車として使っていないが授業で使用するトラクターのなかに、もともと戦車だった車輌が存在している。実際に、1号戦車や95式軽戦車がベースの車輌が校内で散見される。そのため、同校の戦車は農耕車輌のスクラップから再生された可能性も否定できない。

畜産や農業が中心の学校にも関わらず、学園艦自体はあまり大きくない。というよりもむしろ小さい方なうえ、牧場や農場に場所を取られているので、生徒数はさほど多くない。それもあって戦車道に費やせる予算も少ないので、今回入手した新戦車を運用できるかどうかは未知数。むしろ農作業用車輌に改造されるのではと、予想されるほどである。だが、学校のモットーが「質素、倹約、勤勉、忍耐」であり、我慢には慣れている生徒が多く、何とか運用できるようにするという予想の方が多い。ちなみに、そんな小さな学園艦だが、温泉施設が非常に多く、さまざまな種類のお湯を定期的に陸から輸送しているのが自慢でもある。

38(t)戦車

本来はチェコ製の戦車。だが、1939年のチェコ併合で生産施設を入手したドイツが、大量に製造した。小型ながら防御力と火力のバランスが良く、さまざまな改良型が開発された。また1943年にはブルガリアが購入。プラガ戦車と名付けられた。ただし同国は、1944年の政変で枢軸側から離脱。皮肉にも38(t)戦車は、対ドイツ戦へと投入された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

第3回 不肖・秋山優花里の



戦車講座

二人乗り戦車のかわいい姿を紹介！

世界を駆け抜けた豆戦車

戦車が大好きな私こと秋山優花里が、世界の豆戦車＝タンケッテをご紹介。一世を風靡した、その実力をお伝えしたいと思います！

豆戦車タンケッテとは?

皆さん、ジメジメした梅雨をいかがお過ごしですか？ 雨上がりの水溜まりを戦車で突っ走るのが大好きな秋山優花里です！ もっとも、その後の清掃は大変ですが……。

さて今回は軽快な機動力で一世を風靡した、小さくてかわいい戦車〝豆戦車〟をご紹介したいと思います。

豆戦車は1925年、イギリスのギフォード・マーテル少佐（当時）が〝戦場の機械化〟を提唱したことから始まります。最低四人で運用する重機関銃を〝一人乗り〟の装甲車に搭載すれば省力化できたうえに、防御力も機動力も大幅アップ！ という訳です。

このアイデアを実証するため、なんとマーテル殿は自宅のガレージでフォードのトラック等から部品を流用し、戦車を組み立てたのであります！

あぁ、一人で戦車を作りあげるなんて戦車好きの鏡だと思いませんか？

こうして誕生した「マーテル」一人乗り戦車は反響を呼び、イギリス国防局から試作車4輌が正式に発注されます。こうなるとさすがに個人で製造は無理ですので、モーリス・モーター社が加わり「モーリス・マーテル」として試作が始まります。このとき〝Tankette（タンケッテ＝豆戦車）〟という呼び名も与えられました。

とはいえ、やはり一人で運転と射撃をするのは無理があり、すぐに二人乗り戦車になったそうです。

豆戦車の代表格、カーデンロイド

一方このニュースを聞き、同じイギリスで豆戦車の開発を始めた人達がいました。ジョン・カーデン殿とヴィヴィアン・ロイド殿であります。

お互いの名前を冠したカーデンロイド・トラクター社で試作を始めた二人は、1925年中に一人乗りの「Mk.Ⅰ」を製作し、その後、試行錯誤を繰り返します。そして1928年、遂に実用版豆戦車を完成させます。これが「カーデンロイドMk.Ⅵ」であります！

イギリスでは「モーリス・マーテル」ではなく、こちらが正式採用されました。

重さ約1・5トン、全長2・46メートルのとても小さい車体で、高さは約1・2メートルと人の背丈よりもずっと低い！ このため屋根のないオープントップで、乗員は肩から上を出して運転します。

二人の乗員は横並びに座るので〝ハネムーン・タンク〟のあだ名も。私も西住殿と「カーデンロイド」でドライブを楽しみたいです！

エンジンは乗員の間、車体中央部に置かれ、武装は固定の機関銃のみ。

カーデンロイド Mk.VI

カーデンロイドシリーズの集大成といえる豆戦車。開発したイギリスでは、偵察車輌および機関銃運搬車輌として、約300輌を使用。低コストである利点を活かして、400輌以上が海外に輸出された。なお写真の車輌は、日本海軍特別陸戦隊に配備された、通称「カ式機銃車」と呼ばれるもの。上海海軍特別陸戦隊で使用された

写真提供：吉川和篤



九四式軽装甲車



カーデンロイド Mk.VI を参考に、日本で独自に開発された車輌。開発当時は「TK」という非匿名が与えられていた。もともとは牽引車として使用されてたが、中国戦線では悪路での高い走破性が重宝がられ、重要な作戦に投入された。生産自体は 1940 年に終了したが、機動戦力が不足していた日本軍にとって貴重な装甲車輌として、レイテ島の戦いや沖縄戦にも参加した

写真提供：吉川和篤

装甲も9ミリ〜6ミリと小銃を防げる程度ですが、ここにマーテル殿の考えた「移動可能な装甲付き機関銃座」というアイデアが実現したのであります！

ただこのとき、カーデンロイド社は有名企業ビッカース・アームストロング社に買収されます。小さな会社では量産に不安があったのかもしれませんね。

この後、カーデン殿とロイド殿はビッカース社の技術者として、さまざまな車輌の開発にいそしんだそうです。

そして、このことが豆戦車の飛躍にも繋がります！

世界に広まる豆戦車

小さくても立派な装甲車である「カーデンロイドMk.VI」は、イギリスのみならず世界中に輸出されます！

〝豆戦車〟というネーミング、それに名門ビッカースの名はセールスに有利に働いたんですね。採用国はイタリア、ソビエト、中国に日本など、なんと世界11カ国！

この大ヒットの陰には、1918年に終わった第一次世界大戦の影響があったそうです。大戦争がやっと終わったばかりなので、当然、軍事予算は大幅削減。おまけに1929年に始まった世界大恐慌で、どこの国でも財政は火の車！

画期的な新兵器〝戦車〟は世界中の陸軍で垂涎の的でしたが、お金は無い。でも戦車は欲しい！

そんなときに登場した豆戦車は〝手の届く〟戦車として一躍人気を博したのであります。

そういえば冷戦終結後、世界中で重厚長大な〝主力戦車〟が削減され、軽量な〝装輪装甲車〟が増えていますが、歴史って繰り返すものなのですね。

こうして〝豆戦車〟は世界的ブームとなり、ソビエト、チェコスロバキア、ポーランドでも製造権を購入し、自国生産が始まります。

空挺・水陸両用戦車の時といい、本当にソビエトは戦車が大好きですよね〜

ポーランドでは天井まで装甲版で覆った「TK」シリーズを独自開発。450輌以上を生産し主力戦車としました。

チェコスロバキアでは小型砲塔付きの「カーデンロイド」を元に、「AH-IV」を開発、ルーマニア等に輸出も行いました。

現在のチェコは小さな国ですが、独立する前は欧州5大国の一角、オーストリア・ハンガリー帝国の工業中心地でした。その技術力があったからこそ、豆戦車の独自生産、そしてカメさんチームが乗る「38(t)」戦車が誕生したのですね。

砲塔付き豆戦車といえば、日本にも「九四式軽装甲車」があります。日本では1931年に「カーデンロイド」を輸入します。海軍陸戦隊ではそのまま使用しましたが、陸軍ではさまざまな改良を加えて、1934年に「九四式軽装甲車」を生み出しました。

回転砲塔に機関銃を搭載し、小回りが効いてどこにでも行ける「九四式軽装甲車」は各地で大活躍！使いやすい戦車として大好評でした。

ちなみに、ドイツの「I号戦車」も、二名乗りで機関銃しか搭載していませんが、〝電撃戦〟の思想の元に作られた戦車ですので、豆戦車とは別格とさせていただきます。

豆戦車の傑作CV33

さて〝豆戦車〟といえば忘れてならないのが、五十鈴殿が大好きな「CV33」を生み出したイタリアであります！

イタリアでは1929年に「カーデンロイド」の製造権も購入。研究を重ね、エンジンを後方に移し室内を使いやすくし、装甲の屋根を付けた「CV29」を開発します！

CVとはCarro Veloce（カルロ・ヴェローチェ）の略。カルロはイタリア語で〝戦車〟、ヴェローチェは〝快速〟の意味。最後の29は採用された1929年を表します。当時の戦車は時速20キロメートル前後でしたので、最高時速40キロメートルを超える「CV29」は、快速の名にふさわしい戦車であります。

この「CV29」に改良を加えたのが豆戦車の決定版「CV33」であります！アンツィオ高校の副隊長、ペパロニ殿が乗っていた戦車ですね。

重さ約3.2トン。全長も3.2メートルと「カーデンロイド」より少し大きめの「CV」シリーズは、総計2000輌！

火炎放射器搭載型や「ゲッタポント」という仮設橋を持った工兵タイプも作られたほか、輸送機のお腹に搭載する「空挺戦車」型も試作されました。

世界中で、ここまで豆戦車を活用した国はイタリアだけです！

これには豆戦車が〝値段が安い〟ということもありますが、イタリア特有の理由もありました。平原の続く露独仏と違い、イタリアは海に囲まれた半島の国。唯一国境が接している北部には、ハンニバルやナポレオンも山越えに苦労したアルプス山脈があります。1930年代の戦車では、



CV35

イタリアが誇る名豆戦車。カーデンロイド Mk.VI を参考に新設計された CV29 の発展型で、火炎放射機を搭載したものや、20 ミリ対戦車ライフルを備えた車輌など、バリエーションも多い。また整地での移動速度も約 40 キロメートルと快速で、偵察・警備用車輌として優秀な性能を示した。写真は、シュワルツローゼ重機関銃を 1 挺搭載したオーストリア輸出型

写真提供：吉川和篤

アルプス越えは困難と思われていたのです。
でも、小さくて軽い豆戦車なら、狭い山道でもスイスイ移動が可能！
まさしくイタリアにピッタリの戦車と思われたのです！
実際、1935年に行われたエチオピア戦争で、「CV33」は谷や崖の多い標高3000メートルを超える高原地帯でも機動力を発揮し大活躍！ 丘陵地帯が舞台だった全国大会の二回戦でも、軽快に走り回る「CV33」に大洗女子チームも苦労したのであります。
この能力が求められ、「CV33」はブラジルやアフガニスタンなど世界11カ国に輸出され、豆戦車のベストセラーとなりました。
しかし、1936年に始まったスペイン内戦では、改良型の「CV35」が、ソビエトの軽戦車「T-26」にまったく刃が立たなかったそうです。「T-26」は45ミリ砲を持った重量10トン級の戦車ですので、豆戦車にはちょっと荷が重い相手でした。
この「CV35」は改良型なのですが、装甲が溶接から生産が容易なリベット留めに代わり、被弾に弱くなってしまいました。この辺は日本同様、生産技術力の低いイタリアの悲しさがあります。
悲しいといえば、予算がないイタリアでは装備の更新が進まず、「CV」シリーズが保有戦車の75%という状況のまま、第二次世界大戦に突入してしまいます。
あっ、ちなみに、戦争前の1938年に「CV」は、「L3」と正式名が変わりますが、ここでは「CV」のまま進めさせていただきますね。

またLは〝Leggero（レッジェーロ）＝軽い〟というイタリア語の頭文字で、最後の数字は重量3トン級を意味します。
さて、イタリアが第二次世界大戦に参戦したのは1940年の6月。まずはフランスに攻め入りますが、季節外れの大雪で、ほとんどの「CV」がアルプス越えに失敗したそうです。雪さえ降らなければ……。
雪と言えば「CV」は、ドイツとのお付き合いでソビエトにも派遣され、極寒の雪原で戦います。苦労の連続であります。
大変だったのが北アフリカ。「CV」だけのイタリアに対し、イギリスは「Mk.VIクルセイダー」巡航戦車を投入！「Mk.VIクルセイダー」は重さ20トン級で6ポンド砲（57ミリ）を搭載。実に「CV」の6倍近い重さ！「マウス」に立ち向かう「III号戦車」といったところでしょうか。しかも武装は機関銃のみ。
これで戦えというのは、あまりにも無茶をさせすぎであります。
現地改造で20ミリ対戦車ライフルを搭載したりしましたが、焼け石に水。もう、ただただ「CV」がかわいそうなのであります。
その後、イタリア本国から新開発の中戦車が送られてきますが、それでもイギリスに一方的に押されてしまいます。これが砂漠の狐、ロンメル殿がアフリカにやってくる理由となったのでした。
しかし、支援任務に回った「CV」は機動力を活かして偵察などに活躍！ 北アフリカの砂漠は意外に起伏に富んでいて、身軽な「CV」の本来の力が発揮されたといえるのであります。

戦後のタンケッテ

〝大砲と装甲の大インフレ〟とも言われた第二次世界大戦において、装甲の薄い豆戦車は空挺戦車同様、活躍の場が狭くなっていきました。
豆戦車発祥の地、イギリスでは「カーデンロイド」を戦車としてではなく、偵察や物資を運ぶためのサポート車輌、「ユニバーサル・キャリアー」として活用します。やはり大きさから言って、この使い方が豆戦車にとって最適だったのでしょう。
戦後は後継車も誕生せず忘れ去られていきました。ちょっと寂しいですね。
しかし、1989年、ドイツで現代版が復活します！「ウィーゼル」空挺戦闘車の登場であります！
車体長3.3メートル、重さ約2.6トン。サイズはまさに豆戦車。武器はTOW対戦車ミサイルもしくは20ミリ機関砲を搭載しています。空挺戦車のように空中からの投下も可能ですが、小型軽量ですので大型輸送ヘリコプターに搭載可能なのが魅力です。
手軽な装甲車両として、冷戦後に増加したPKO活動などで、現在でも活躍中！ 少し大きくなった「ウィーゼル2」も開発されています。やはり豆戦車は使い方次第なのです！
いかがでしたか？ 1930年代に一世を風靡した小さくてかわいい〝豆戦車＝タンケッテ〟の歴史と魅力、ご理解いただけましたでしょうか？
それではまた、次回の戦車講座でお会いしましょう！

アンツィオ高校所有のCV33型に関する報告

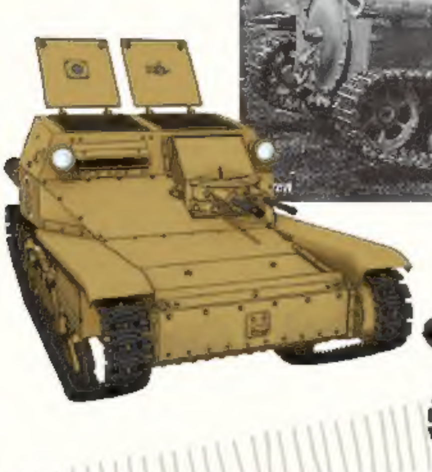
解説：イタリア軍研究家 吉川和篤

今回OVAに登場するCV33型は、外観や装備に幾つか特徴がある。例えば、初期生産型では戦闘室後部の左右観測窓は跳ね上げ式のスリット入り装甲板でその間に鎧戸式の吸気口があるが、そこがアンツィオ校車輌では、防弾クラッペと雨除け兼防弾のルーバーに改良されている。これはCV33の最終型に見られ、後のCV35型から標準化された。また、大戦中のCVシリーズは指揮戦車以外は無線機を搭載していないが、同校車輌は小型化した無線システムを導入して緊密な連携を可能とした。しかし搭載したM35型機関銃は、最終型のベルト給弾式ではなく大型で不便な5発小銃クリップを10個まとめた旧式弾倉を使用しており、これが同校の美学なのか単なる予算不足なのかは定かでない。



アンツィオ校車輌と同様に、後部クラッペとルーバーを装備したCV33最終量産型

写真提供：吉川和篤







豆戦車大作戦
えと文/モリナガ・ヨウ
実に軽快に走りますッ!
ポーランド豆戦車 TK
シャベルが大きく見えますが、車体が小さいのです。
さて、今回は時代のあだ花、豆戦車です。
←この人が「豆戦車の父」ギフォード・マーテルさん。
偉大なのかちっちゃいのかわかりません。
マーテルさん、自力でフォードトラックから1人乗り戦車を作りました。
↑マーテル1人乗り戦車。
フォードのエンジン
カーデンロイドも試作。
ただ1人乗りだと実際には何もできないので、2人乗りのモノが試作されました。
イギリスの豆戦車カーデン・ロイドは、世界的ベストセラーになりました。
カーデン・ロイド式と世界中に影響をあたえたサスペンション。
製造権も購入
豆戦車の決定番、イタリアのCV33
明りとり窓。
ちゃんと後ろも覗けます。
車体のまん中にあったエンジンを後に移し、屋根もつけました
射手側のは、射撃に影響が出ないようにスリットがついている明かりとり窓。
飛行機なんか1人乗りじゃないか!
本当に作った。
前方覗き窓。
車内はエンジン音が響き、大声で話してちょうどいいぐらい。
サスペンションはその後改良される。
最初期には車内に仕切りがありました。不便なのか後に廃止。
窓の位置が低く、地面に近い。乗った感じはかなりのスピード感らしいです。
全高が1.2メートルしかない。
装甲は薄め。豆戦車だし。ハッチは軽く開閉できます。
パタパタ
乱暴に使いすぎると、やっぱり外れる履帯
・小さいからトラックなどに積んで長距離も無理なく移動できる。イタリア軍の主力として多数配備されました。
いわゆる大砲を備えた戦車とは…戦闘できません
だよねー
☆ところで、レプリカならカーデン・ロイド戦車は、インターネットで買えるようです。
個人で戦車を手に入れられるなんて夢のようであります…!!
相手によるよね
万能けん引車として大活躍の日本軍の豆戦車 九四式軽装甲車→

連載小説

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

鈴木貴昭

第3回



困難のなかにこそある勝機

会場の巨大スクリーンには、サンダース大学付属の車輌十輌のうち、九輌が大洗女子側を包囲するように森へと投入された様子が表示された。その大胆な用兵に歓声を上げる観客。とくに大応援団を繰り出しているサンダース大学付属側の席からは、ブラスバンドの演奏が勇壮なマーチを奏で、それに合わせてチアガールたちの手にしたポンポンが大きく振られた。

その音楽と歓声は、離れたところにいるダージリンたちにも聞こえるほどであった。

「さて、これからどうするつもりかしら?」

ダージリンが、戦況を興味深げに見つめる。

森から抜け出そうとするⅣ号戦車を押さえるように、二輌のシャーマンがその針路を塞ぐ。

「完全に包囲されました」

オレンジペコが不安げな表情を浮かべる。

「そうね、少しでも速度を落としたら、完全に挟撃されるわ」



その瞬間、速度を上げて隊列の先頭に立つⅣ号戦車。そのまま砲撃を無視して加速した勢いのまま、シャーマンの間へと無理やり車体をねじ込んでいく。その勢いがわずかに相手を怯ませたのか、シャーマンはその隙間を閉じることなく、Ⅳ号戦車を通過させていった。

　思わず息を呑んだオレンジペコは、大洗女子側が包囲を脱したのを見て、大きく息を吐く。ダージリンも優雅に紅茶のカップを持ち上げると、ゆっくりと口に運ぶ。

「ダージリン、グリーンからこれが」

　そのタイミングを見て、席を外していたアッサムが背後の衝立の隙間から、そっとダージリンにファイルを渡す。

「グリーンが？　何かしら？」

　受け取ったファイルを静かに開くと、そこにはヨーグルト学園対ワッフル学院の対戦結果が入っていた。

「ヨーグルトの勝利は想定通りですが、新車輌？」

「ええ、これはなかなかおもしろくなりそうね。黒森峰用の準備が、こんなところでできるなんて」

　不敵な笑みを浮かべるダージリン。

「アッサム」

「はい」

「早速、全員に敵の戦力を伝えなさい。そして、良い試合ができますわ、とも」

「はっ」

　一礼すると、静かにそのまま下がるアッサム。

「ペコ」

「はい」

「レストアは間に合いそう？」

「……難しいですね。たとえ間に合っても」

「乗員の訓練は間に合わない」

「……はい」

「やむを得ませんわね。そうそう簡単には戦力の増強はできない。当然のことですわ」

「でも、ヨーグルトは」

「かなり前から準備をしていたのでしょう。それとも」

　いたずらっ子のような笑みを浮かべるダージリン。それを見て、首を傾げるオレンジペコ。

「どこかが支援している？」

　それに対して、軽く肩をすくめるダージリン。

「今年から連盟も本腰を入れてきたようね。ゆえに各校も、本格的に強化を始めてきたということでしょう」

「うちの学校は……」

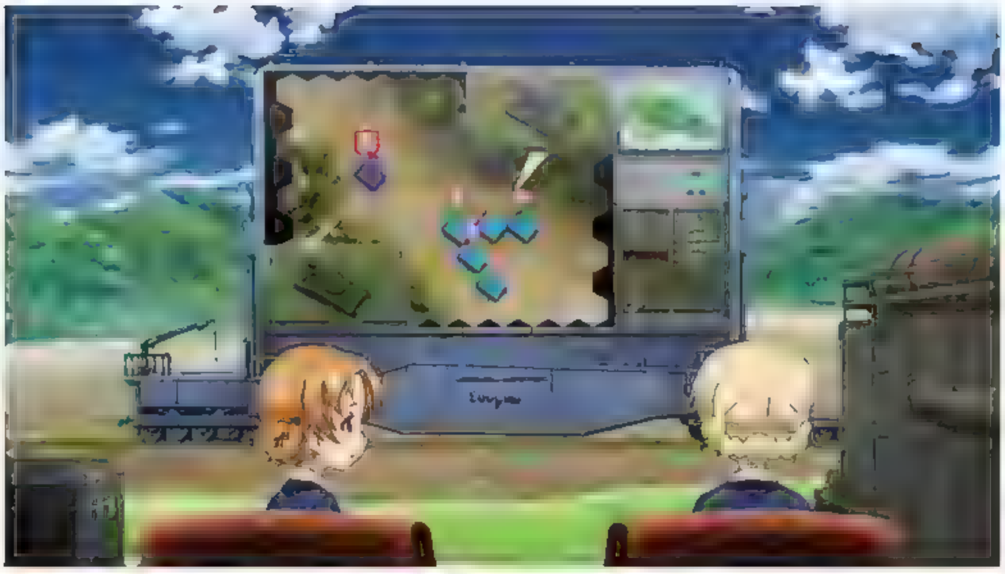
「ふふ、天は自ら助くる者を助く、よ」

「サミュエル・スマイルズの自助論、ですか」

聖グロリアーナ女学院・戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

第3回





「ええ、私たちは日頃の鍛錬を十全に発揮するために、この場所に立っている。ない物ねだりをするために、戦車道をしているわけではないわ」

「はい！」

湧き上がった歓声に、視線を会場に戻すダージリン。

「あら、いつの間に戦況が」

「はい、大洗がサンダースを罠にかけています」

「丘を使って包囲されたと見せかけて、逆包囲。なかなかおやりになるわね」

その瞬間、高地に伏せたIII号突撃砲からの砲撃が、シャーマンに命中。白旗が上がる。

あわててもう一輌が逃げ出していく。

「うまくいったようですわね」

「はい！」

興奮するオレンジペコに、にっこりとほほ笑み返すダージリン。

「サンダースが転進します」

「どこに行くのかしら？」

「大洗とは別の方向ですよね？」

白い指を顎に当てて、少し考え込むダージリン。

「……どうやら、少し耳が聞こえすぎたようですわね。クラフト・ブリングス・ナッシング・ホーム」

「策士、策に溺れる……ですか」

「多分ね、これからどうなるかしら？」

大洗女子の車輌に視線を送るダージリン。

その瞬間、空気が止まった。

柵を周囲に巡らせ、そのなかに隠れていたサンダース大学付属のフラッグ車。その真横に大洗女子の八九式中戦車が突然飛び出したのだ。

あまりの事態に、両方の乗員は驚愕し、見ている観客も硬直していた。

「——!?　ぷっ!!」

笑いをこらえきれず、涙までこぼすダージリン。そっとハンカチを渡すオレンジペコ。

八九式中戦車が一発も撃たずに逃走し始めると、あわてて砲塔を回し砲撃するサンダース大学附属のフラッグ車。

「煙幕をスパイク？」

「投擲するよりも、飛距離がありそうですが」

「素晴らしい運動能力ね、本当におもしろい学校ですわ」

煙幕でかく乱されつつも、追撃するサンダース大学付属のフラッグ車。だが、そこは大洗女子の全車輌が待ち受けていた。

「サンダースのフラッグ車は、完全にキルゾーンに誘われたわね」

「あの状況から逆転は難しいのでは」

「手早く仕留められたらね」

今まで八九式中戦車を追撃していたのが、今度は一転して追われる立場になるサンダース大学付属のフラッグ車。

「まさか、こんな展開になるとは」

「ふふふふ、まるで鬼ごっこね」

あわてて逃げるフラッグ車、それを追いかけながら、盛んに発砲する大洗女子。だが起伏の多い不整地を、全速で走行しながらではめったに当たるものではない。

それはサンダース大学付属側も同様で、砲塔を後ろに回し、砲撃を行うがまったく当たらない。

「車体があれだけ動揺していては、当たるものも当たりませんわね」

「ダージリン様ならどうされますか？」

「私？　そうね、蛙飛びで一輌ずつ追い詰めようかしら」

蛙飛び。つまり移動して急停止、そこで発砲してまた移動するという躍進射撃のことだ。それを順次させつつ、残りの車輌で追撃する。つねに追い続け、命中する確率も大幅に上がる。

「でも、大洗にそこまで求めるのは、まだ厳しいようですわね」

「子供のサッカーみたいになっています」

フラッグ車を全車で追う今の状況は、ボールに全員が群がる子供のサッカーと変わらず、どうしてもコミカルに見えてしまう。

だが、そこを甲高い砲声が切り裂く。

「サンダースの援軍が来ました！」

オレンジペコの声に、残念そうな響きが混じる。

「有効射程外からでも発砲して、敵の注意を引き付ける。今の状況では適切な行動ね」

「これで優位に立っていた大洗が、一転後ろを取られました」

「M4の路外性能は30キロ前後、それに対してⅣ号は20キロ、いつか追い付かれるわ」

「はい、それまでにどちらが先にフラッグ車を倒すかが、勝負の分かれ目になりますね」

追撃してくるサンダース大学付属の車輌を数え、疑問を顔に張り付けるオレンジペコ。

「でも、どうしてサンダースは残り半分の車輌しか来ていないのでしょう？」

「わからない？」

「先行して包囲するのでしょうか？」

「あまり上品な方々ではないと思いましたが、サンダースにも人物がいるようですわね」

オレンジペコの模範的と思われる解答に対し、ほほ笑みながら、婉曲に答えを返すダージリン。

サンダース大学付属に後ろを取られたと知ると、急いで走りながらフラッグ車を守る陣形を取る大洗女子。後方の二輌が砲塔を後ろに向けて援護砲撃の準備をする。

「いい腕ね」

「大洗には、いい操縦手が揃っているようですね」

「あのファイアフライの砲手……」

「はい、最優秀砲手候補の一人、ナオミさんです。大洗女子、ピンチです」

それを聞くと、にっこりと笑うダージリン。

「サンドイッチはね、パンよりもなかのキュウリが一番おいしいの」

「はい？」

「挟まれた方が、いい味出すのよ」

形勢を一挙に逆転され、そのうえ着実な砲撃で後方を守る八九式中戦車、次いでM3中戦車が撃破される。

すかさずⅢ号突撃砲が、フラッグ車である38(t)戦車の後ろに回り、壁となる。

「Ⅲ突の砲力が活かせないのは、厳しいですね」

「駆逐戦車の欠点ね」

「どちらが先に当てるか……」

「……これはもう一、出来ますわね」

「はい？」

「ご覧なさい、あのⅣ号、まだ諦めていないわ」

華麗な挙動で敵弾を回避し、そのまま坂を上っていくⅣ号戦車を指差す。

「あれでは、的になるだけでは？」

「いいえ、なかなかの決断ですわ。これでサンダースは大洗のフラッグ車を狙うか、それとも自分のフラッグ車を守るためにⅣ号を攻撃するか……。どちらにエースを向かわせるか、サンダースは難しい判断を迫られることになったわね」

制止するⅣ号戦車、そしてファイアフライ。

「これで決まるわ」

「はい！」

手をぎゅっと握りしめるオレンジペコ。

車体の動揺がおさまると同時に、発砲するⅣ号戦車、そしてファイアフライ。双方の砲弾が唸り、Ⅳ号戦車の砲弾が逃げるサンダース大学付属のフラッグ車に突き刺さる。が、ほぼ同時にファイアフライの砲弾がⅣ号戦車を捉えていた。

そして沸き上がる歓声。

大洗女子学園の勝利を告げるアナウンス。大きな歓喜を爆発させる観衆、その声に思わず、オレンジペコも唱和していた。

その姿を見て、優しくほほ笑むダージリン。

「は―――」

「ふふ」

試合後にお互いの敢闘を称えあって握手をする姿に、感極まるオレンジペコ。

そして優雅に紅茶を飲むダージリン。

「いい試合でした」

「ええ。さて、私たちも気を引き締めて、次の試合の準備をしましょう」

ダージリンが立ち上がると、いつの間にか戻って来て後ろに控えていたアッサムが、衝立とティーセットを車に載せて行く。オレンジペコがあわてて撤収を手伝い、やがてピンク色に塗られた車は、夕日で赤く染められた参加者専用埠頭へと去って行った。

ヨーグルト学園。

例年なら、主力は中古の38(t)戦車に豆戦車のCV33と、オチキスH・39であった。四強の一つと謳われる聖グロリアーナ女学院にとっては、鎧袖一触の相手と誰もが考えていた。

しかし今、試合場に並んでいるヨーグルト学園の陣容は、大幅な補強によって生まれ変わっていた。

そこに並ぶ車輌は、パンター、Ⅳ号駆逐戦車／L70、Ⅲ号突撃砲、Ⅳ号長砲身、そしてヘッツァーと、ドイツ戦車のオンパレードであった。しかも、多少砲身長は異なるが、どれも扱いやすくて威力の高い長砲身75ミリ砲であり、車輌自体も重戦車ではなく、比較的機動力を重視した中戦車級で揃えている。機動力と砲力を兼ね備えた強敵、それが今回のヨーグルト学園であった。

そんな快速好打の車輌の中に、軽戦車のオチキスH・39と38(t)戦車、そして豆戦車のCV33が混ざっているのは、数合わせなのか、それとも偵察のためなのか。しかもフラッグ車は、その強力なパンターではなく38(t)戦車であった。

「あれだけの戦力……」

息を呑むオレンジペコ。

それを前にして、車長席で不敵な笑みを浮かべるダージリン。

「ふふ、逆境は私たちの美徳を明らかにするのよ」

怪訝な視線をダージリンに向けるオレンジペコ。それに応えず、ダージリンは無線機を取り上げると全車へと通信を発する。

「よろしいかしら。相手は私たちよりも強力な車輌を揃えています。しかし、伝えた通り恐れることはありません。黒森峰戦の前哨だと思って全力を尽しなさい。戦車の能力は砲力でも装甲でもない、中に乗っている乗員ですわ！」

『了解！』

ダージリンの檄に、全乗員から力強い返答が返ってくる。

「隊列を崩さず、嵐のように相手に肉薄し、確実にフラッグ車を倒します。全車前進！」

『了解！』

横一列の隊列を組んで、加速していく聖グロリアーナの車輌たち。轟音が調和して、咆哮が周囲を圧倒する。

しかし動き出してすぐに、その咆哮を切り裂いて砲弾が飛来する。

『まだ見えもしないのに！』

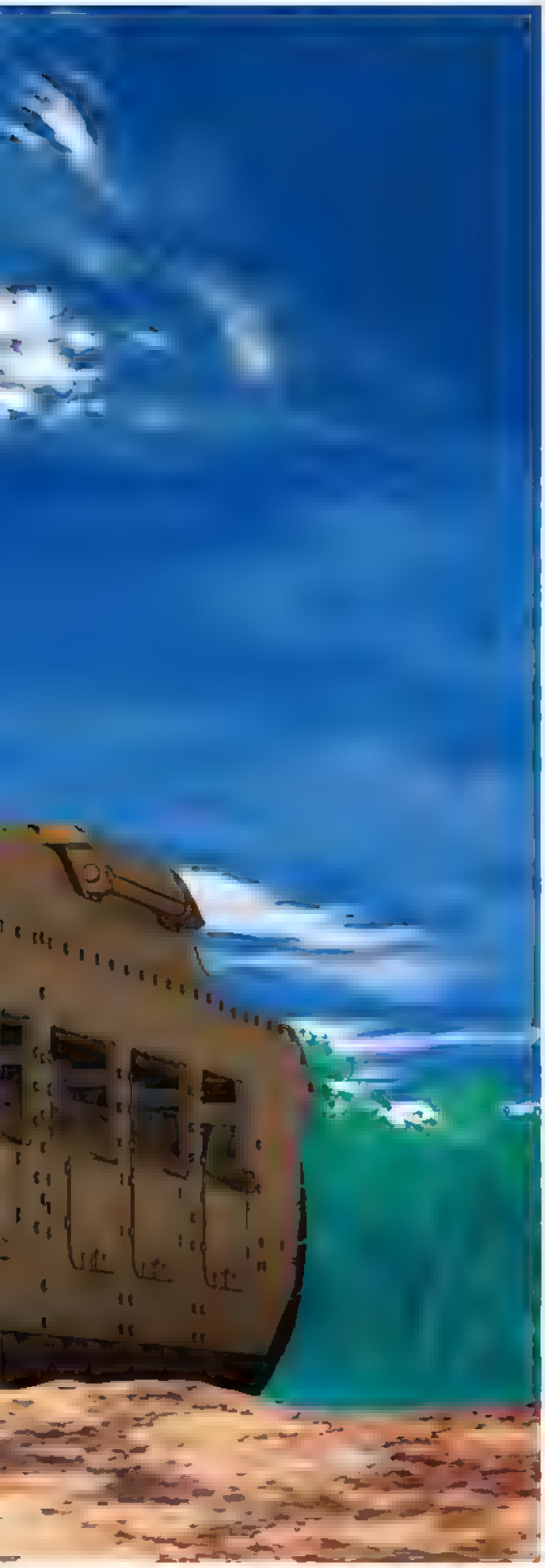
無線機に、一番右端を走っていたニルギリの悲鳴が飛び込んでくる。それに笑みで返すダージリン。

「ふふっ、どうやら相手は脚を止めて、遠距離から撃って来ているようね。望むとこ

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道　第3回

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

ろですわ。悪魔のように素早く接近して、天使のように優しく仕留めなさい」
　圧倒的な戦力を誇るヨーグルト学園に対し、果たして、その戦法で問題はないのか疑問を呈するオレンジペコ。
「可能なのですか？」
「可能か不可能かを論じる前に、進撃するのよ。死神を置き去りにするぐらいの全速で」
「ですが……」
「それに脚を止めているということは、向こうの練度がそれほど高くない証拠。３０００メートル以上の遠距離から一斉に射撃して、こっちに付け入る隙を与えているようではね」
「蛙飛び、ですか？」
「そう、よく覚えていたわね。こういった時には、少しずつ時間差をつけて攻撃する方がいいの。相手に立て直す時間、考える時間を与えないように」
「はい！」
「装填の間に死角まで前進、そこで一挙に方向転換するわ！」
『了解！』
　聖グロリアーナの車輌であるチャーチルもマチルダIIも、不整地では本来時速12〜13キロ程度しか出ない。だが、無駄の少ない動きと隊列行進の訓練で培った機動力を生かし、隊列を維持したまま、ほぼその最高速を発揮し続ける。方向転換でもほとんど速度を落とさずに進み、みるみる距離を詰めて行った。そして、ヨーグルト学園が試合開始と同時に奪取したと思われる高地、そこからはちょうど死角になる低い丘の後ろへと回り込んで行く。



　相手の死角へ入ったことを確認すると同時に、丘の後ろで進路を大きく左へと変更し、丘に沿って進んで行く。
「敵情は？」
「どの車輌からも報告はありません」
　ダージリンの質問に答えるオレンジペコ。それに疑問をぶつけるアッサム。
「本当に１１５高地を奪取されたのか？」
「射線から判断する限り、それ以外ありえませんわ。問題は……」
　ダージリンが言いよどむと、オレンジペコが思い付いたことを口に出す。
「偵察、ですか」
「正解。CV33が弾着観測に出ているでしょうね。あれは小さいから、気をつけないと見落としますわ」
「警戒を厳にさせます」
　オレンジペコが、全車輌に警戒レベルを上げるように連絡する。一斉に各車輌のハッチが開き、車長が周囲を観測し始める。
「とにかく不審なものを見逃さないように。敵は豆戦車を偵察に出している可能性があります」
『了解』
　全車から報告が戻って来る。
「今はこちらの行動を読ませないのが最重要。もし敵に見つかったら……」
「見つかったら？」
「そのときは多少、厳しくなりますわね」
　にっこりと笑うダージリンに、不安をかき立てられるオレンジペコ。
「この先、丘が右に切れ込んでいます。目標の高地へは、そこから真っ直ぐ行けますが」
「当然、待ち伏せているでしょう」
「進撃はしてこない、と」
「新しい強力な戦車を手に入れたので、積極的に前に出てくる？」
　アッサムの疑問に笑って答えるダージリン。
「向こうの隊長がそんなタイプとは聞いていませんわ。でも、確かに戦力に浮かれて、飛び出してくるのもいるかもしれないわね」
「そのときは？」
「むしろ、飛び出してきてくれた方がありがたいですわ。あのまま丘の上に固まっていたら、なかなか面倒よ」
　だが、ダージリンの希望とは裏腹に、１１５高地は静まり返り、そこから下ってくる戦車は影も形も見えなかった。
　ハッチから身を乗り出して、小さくため息をつくダージリン。
「どうします？」
「向こうの手に乗って、切れ込みを右折。ですが途中で一挙に大迂回をして強襲します」
「登攀ルートを探します」
　地図を見るオレンジペコ。操縦手のルフナとやりとりをして、素早く地図上に線を引いて行く。
「ええ、よろしくね。ふふ、チャーチルの実力を見せる時よ」
「できました」
　地図を差し出すオレンジペコ。それをちらっと見て、いくつか修正を入れると進路を全車に伝えるように指示をするダージリ

ン。次いで、ニルギリに別の命令を出す。

「ニルギリ、偵察を」

「了解」

ニルギリの車輌が、切れ込みに向けて前進する。だが、偵察で行くには速度が速すぎ、また遮蔽物を使う慎重さに欠けている。ダージリンが指示を飛ばす。

「ニルギリ、速すぎよ！」

「はっ、はい！」

あわてて車輌を止めるニルギリ。だが間に合わず、その前面装甲に命中する砲弾。車体が大きく揺さぶられ、白旗が上がる。

全車輌の無線機から、呆然としたニルギリの声が聞こえる。

『……この距離から抜かれるなんて』

それを聞いた瞬間、指示を出すダージリン。

「全車、敵陣へ突撃！」

『了解！』

「このまま真っ直ぐ行くわよ」

「それは!?」

「大丈夫、砲弾は3発。今はあわてて、ほかの方角を向いていた車輌を回している最中でしょう。装填が終わる前に、距離を詰め叩きなさい！　全車全速！」

全車一斉に加速し、そのまま擱座しているニルギリ車の横を通過。速度をほとんど落とさず、鋭角に旋回して高地への坂へと向かう。

後退する土煙が二つ前方に上がっているのが目に入ると同時に、アッサムが75ミリ砲のトリガーを絞る。轟音とともに発射された砲弾。それを見て、後続のマチルダⅡも思い思いに主砲を発射する。土煙のやや後方高めを狙った砲弾は、きれいな弾道を描き、森のなかへと消える。



聖グロリアーナ女学院VS黒森峰女学園への道　第3回

聖グロリアーナ女学院 戦いの軌跡

直後、湧き上がる爆炎。

「命中！」

『ヨーグルト学園、H-39撃破！』

すぐに、撃破報告のアナウンスが会場に流れた。

もう一つの土煙は弾幕をかいくぐるように高速で後退し、一瞬にして視界から消え去る。

「アッサム、いい腕だったわ」

「当然、と言いたいところだけど、半分以上はまぐれね。切磋射撃で、そうそう当たるものじゃない」

「確かに、でも今は間違いなく追い風になっているわ。その順風に帆を上げる時よ！」

チャーチルを先頭に、坂道を一直線になって駆け上がっていく。

「全車、ヘリンボーンフォーメーション用意！」

ダージリンがハッチから身を乗り出し、前方を睨むように見つめる。

その視界に、稜線を利用してハルダウンし、車体の大部分を隠しているヨーグルト学園の戦車。その砲塔がかすかに見える。砲身の動きを見つめ、その射線上に入らないように、わずかに蛇行するよう操縦手のルフナに伝える。

少しずつ車体を横滑りさせ、相手の狙いをずらしていく。焦れるように砲塔が動いた瞬間、全車に命令を下すダージリン。

「今よ、全車展開！」

事前に命令されていたフォーメーションにあわせて、一直線になっていた聖グロリアーナの車輌が左右へと広がる。

その瞬間、前方に見えている高地の稜線が光る。体を車内に滑り込ませると同時に、全車へ通信を送るダージリン。

「敵はハルダウンしているわ。砲身が地面に近いから、砲撃の後は土煙でしばらく視界が塞がれるはず。相手の砲撃に構わず一挙に前進！　敵陣に飛び込みなさい！」

『了解』

「三号車、被弾！」

一斉に起きた返事とともに、ダージリンに従って右へと進路を変えた三号車から被弾報告が来る。先ほどまでいたチャーチルの位置目掛けて、全砲弾が撃ち込まれていたのだ。もしダージリンの指示かルフナの操縦が遅れたら、聖グロリアーナの試合はここで終了していたかもしれない。

その危険を目しつつも華麗に砲弾を回避したその挙動は、観客席を大いに沸かせることになった。

だが、外が十分に見えないだけに、不安げな表情を浮かべるオレンジペコ。

「ダージリン様、大丈夫なのでしょうか？」

「何？」

それに対して、きょとんとするダージリン。

「先ほどの作戦です。万が一フラッグ車に直撃したら……」

「ああ、先ほどの砲撃であちらの腕は大体わかりましたわ。こちらの開口部に放り込むような魔弾の射手は存在しない」

オレンジペコに、にっこりとほほ笑みかけるダージリン。そして、手にしたティーカップを優雅に口に運ぶ。

ダージリンに目がけて発砲した車輌はパンター。その主砲の75ミリ砲は、通常の39式徹甲弾で、先ほどの距離である約1000メートルで111ミリを貫通する。確かにチャーチルの正面装甲は152ミリであり、100メートルの距離からでも通常徹甲弾であれば、パンターに抜かれることはない。

だが軽量高初速の40式徹甲弾なら、同距離で149ミリを貫通する。それに、チャーチルの正面には視察口や機銃など装甲の弱い部分があり、そこに命中すれば一撃で撃破されることもありうる。

その危険を考えオレンジペコは疑問を口にしたのだが、ダージリンはそれをわかったうえで、リスクとリターンを冷静に分析して突入命令を出したのだった。

「細心の作戦と大胆な行動、それが勝利を呼ぶのよ」

チャーチルの外では、逆V字の陣形から更に左右へと広がっていく聖グロリアーナの車輌。とくにフラッグ車であるチャーチルは、人が歩くのも難儀しそうな急坂を登って行く。

マチルダIIもチャーチルが進んでいる場所ほどではないが、道から外れて路外を全速で走行して、敵陣へと肉薄していく。

紅茶を飲み終わると、再びハッチから身を乗り出すダージリン。傾斜がかなりついているので、キューポラの縁をしっかりと掴む。

左側に視線を向けると、一輌のマチルダIIが高地の稜線を乗り越えようとする姿が目に入る。だが直後、集中砲撃を受け白旗が上がる。

その間にもう一輌が稜線を乗り越え、高地の敵陣へと滑り込むのに成功した。

同時に通信を送ってくる。

『こちらシッキム、フラッグ車38(t)は四時方向、最初の砲撃地点側！』

しかしその直後に砲撃を受け、白旗が上がるのがダージリンからも見える。

「もう少し速度を上げなさい！」

「これ以上は……いえ、何とかします！」

ルフナが力強く答える。

「結構。ペコ、弾種徹甲弾。アッサム、登り切ると同時に砲塔を右旋回30度。そこに敵フラッグ車がいるはず」

「了解」

「ほかは無視していいわ、フラッグ車だけを狙うのよ！」

ほかのマチルダIIも次々と稜線を突破し、敵戦車と混ざり合っている。そうなるとパンターの長い主砲や、砲塔が回らない突撃砲はなかなか射点に目標を捉えることができない。逆に、車体が小さく小回りの利くマチルダIIは敵に肉薄。効果は少ないものの、次々と主砲を発砲して相手に混乱を招いている。

そして刻々とダージリンの元へと状況が知らされ、ほぼ相手フラッグ車の位置は把握した。

その情報を車内に伝え、針路をわずかに変更させると同時に砲塔を旋回させる。

「フラッグ車、後退を開始しています。急いでください！」

「了解！　行きますわよ！」

ダージリンが車内へと号令をかける。

その瞬間、高地から見るとほとんど崖かと思っていた地点から、チャーチルの巨大な姿が飛び出してきた。

前半分を大きく跳ね上げ稜線を越えると、一瞬後轟音とともに車体が高地の上へと着地する。その直前にはマチルダⅡとの距離を取ろうと、全速で後退中のⅣ号駆逐戦車／L70。Ⅳ号駆逐戦車は後方に突然出現したチャーチルに気付かず、そのまま衝突する。

激しく揺さぶられるチャーチル。しかも後ろは稜線に、前はⅣ号駆逐戦車に挟まれ、身動きが取れなくなる。

だが、そのなかでも冷静に指示を出すダージリン。そして額をぶつけつつも、怯まず砲塔を旋回させるアッサム。

「フラッグ車、右後退中！」

「……見えた！　逃がさない！」

後退する38(t)戦車のやや先を狙うアッサム。坂に差し掛かって逃げようとする瞬間、チャーチルの動揺もおさまった。

「発射！」

発射された砲弾は、真っ直ぐに後退する38(t)戦車の車体側面に突き進み、きれいに命中、大きく吹き飛ばした。

そして一瞬後、上がる白旗。

『ヨーグルト学園、フラッグ車撃破！　聖グロリアーナ女学院の勝利！』

アナウンスが会場に響き渡る。

一斉に湧き上がる歓声。

「ふう、何とか勝てましたわね」

「はい」

「黒森峰の参考になりました？」

アッサムが車内から聞いてくる。

「そうね、わかり切ったこととは言え、開けたところで戦うのは、やはり厳しいですわね」

ため息交じりに応えるダージリン。

「いくらこっちの装甲が厚いと言っても、88ミリ砲なら余裕で抜いてくる」

「そうですね、黒森峰のティーガーⅡの88ミリ砲L71なら、通常徹甲弾でも1000メートルくらいから、こっちの正面装甲を平気で抜いてきます」

オレンジペコがスペックを伝えると、アッサムもため息をついた。

「黒森峰は練度も高いし、今回みたいな手は使えない」

「地形を生かしても、簡単には近付けさせてはもらえませんね」

アッサムとペコの会話を聞きながら、車体の上に出るダージリン。周囲では撃破された車輌の回収が始まっていた。

チャーチルと激突したⅣ号駆逐戦車は、そのときのショックでどこか故障でもしたのか、身動き一つしない。

ハッチを開けて出てきたヨーグルト学園のⅣ号駆逐戦車車長が、ダージリンを見ると肩をすくめる。

「どこか壊れたのかしら？」

「ええ、多分エンジンが」

「じゃあ、回収が来るまで動けないわね。私たちも、そちらの車輌が動いてくれないと、ここから身動きできないわ」

ちょっとだけ困った表情で、優雅に笑うダージリン。それを見て、相手の車長もすまなそうな笑みを浮かべる。

「しかし、どこから来たんですか？」

「そこの坂ですわ」

登ってきた斜面を指差すダージリン。

車を降りると軽やかに走り、坂を覗き込むヨーグルト学園の車長。

「……本気で？」

覗き込むなり一瞬絶句し、振り返るとありえないものを見たような目でダージリンを見る。

それに対して、さも当たり前のように答えるダージリン。

「ええ、それが何か？」

「いや、ここ坂じゃなく崖ですよ!?　それを登って来るなんて……」

「ふふ、チャーチルは最高のヒルクライマー。何も問題ありませんわ」

ダージリンの笑みを見て、呆れたように首を左右に振るヨーグルト学園の車長。

「なるほど、これが強豪校ですか……。まだまだ足りないものが多いようです」

「In the middle of difficulty lies opportunity.　困難のなかに機会がある、そういうことですわ」

「良い戦車を揃えさえすれば、勝てるというのは甘かったですね」

「いいえ、あなた方が勝つために努力をしてきたように、私たちも勝利のためにすべきことをしてきただけですわ」

それを聞いて、ほっとしたような笑みを浮かべるヨーグルト学園の車長。そして、右手を出してくる。

「私はシレネ、ヨーグルト学園の副隊長です」

それを聞いて少しほほ笑むと、その右手を握り返すダージリン。

「私はダージリン。隊長の……えーっと」

「ハルヴァですか？」

「ええ、その人とは試合前に挨拶させていただいたけど、今は？」

「さっき、38(t)戦車と一緒に引き上げたみたいです」

「そう、よろしくと伝えていただける？　機会があったら、ぜひ練習試合をいたしましょう」

「はい！」

そこに響くチャーチルのエンジン音。

振り返ると、Ⅳ号駆逐戦車が回収車に引かれ、移動を開始していた。シレネと名乗った車長も一つ頭を下げると、自分の車輌に駆け寄り、軽やかに飛び乗ってハッチに体を滑り込ませる。

ダージリンもチャーチルへと戻ろうとすると、アッサム以下、チャーチルの全乗員が興味深げに見ていた。

「どうしたの？」

ダージリンが首を傾げる。

「ダージリンが自分から練習試合を申し込むなんて、めずらしいですね」

「おもしろい学校が増えてきましたわ。少々見聞を広めた方が、より楽しみが増える。こんなところかしら」

「大洗みたいに？」

ニヤッと笑うアッサム。

それに笑い返すと、号令をかけるダージリン。

「さあ、帰りますわよ！」

『了解！』

聖グロリアーナ女学園、紅茶の園。

そこで試合の反省会と他校の戦闘分析を行うのが、ダージリンたちの日課となっている。綿密な分析と徹底した情報収集、それ無くして戦車道で勝利するのは難しい。

アフタヌーンティーのテーブルを囲みながら、紅茶の園の住人たちは作戦会議を続けていた。

「で、大洗の次の対戦相手は？」

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

第3回

グリーンに尋ねるダージリン。ちらっと眼をファイルに走らせるグリーン。

「次は、アンツィオ高校ね」

「ノリと勢いはトップクラス」

アッサムが口を挟むと、それに薄い笑みで返すグリーン。

「ノリと勢いだけだがな」

「われわれの相手は」

「黒森峰でしょう。継続も多少は粘ってくるとは思いますが」

答えるオレンジペコ。

「豪雪とか湿地のステージになれば、意外な逆転劇もあるかもしれませんが、まぁそれでも黒森峰ですから」

グリーンが書類をめくって答える。

「そうね、われわれとしては開けたステージに当たらないように祈るばかり。そういうことかしら？」

おどけたように肩をすくめるダージリン。

それを見て椅子から立ち上がるグリーン。

「同じステージは使われないですから、残りステージの確認をしておきます」

「ええ、お願い」

「日程と会場は？」

「どの？」

「もちろん大洗とアンツィオよ」

満面の笑みを浮かべるダージリン。

二回戦の試合順番は、ヴァイキング水産高校対プラウダ高校のAグループ第一試合、次いで聖グロリアーナ女学院対ヨーグルト学園のBグループ第一試合が行われ、その次がAグループの第二試合であるアンツィオ高校対大洗女子学園となる。そして最後がBグループ第二試合の黒森峰女学園対継続高校であった。

そのため、大洗女子の試合を見に行く余裕は十分にある。準決勝は逆にBグループが先に行われ、次いでAグループとなるので、もしアンツィオ高校戦に大洗女子が勝ったとしても、聖グロリアーナの準決勝後になる。

アンツィオ高校対大洗女子の試合当日。

「車は？」

「用意してあります」

ダージリンを車庫へと誘導するオレンジペコ。そこには、小さくて傾斜した車体の装甲車が停まっていた。

「まぁ、今日はフェレットなの？」

「はい、今日の会場は不整地走破性能が高い車輌がいいと思いまして」

「この間のピンクパンサーは？」

「あれはグリーンさんがアッサム様と乗って行かれました」

それを聞いて、フェレット装甲車に乗り込むダージリン。

「このスプリング式の車長席、おかしな感じね」

「少しの間なので、我慢していただけますか」

操縦席に付くと、車を学園艦内部ドックへと走らせるオレンジペコ。

「あら、今回は直接降りないのかしら？」

「はい、今回の会場は埠頭に余裕がありませんから」

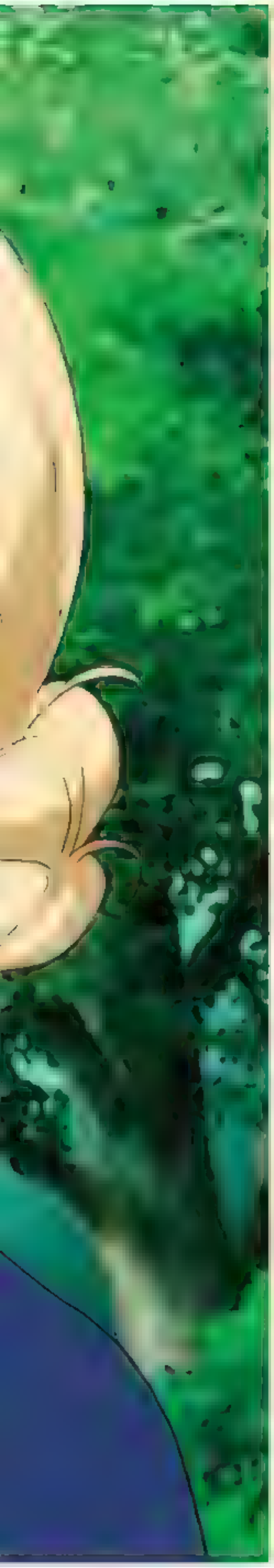
試合のステージによっては、多数の学園艦を繋留する埠頭がない場合もある。

そういった時は、学園艦自体は沖に繋留し、小型の連絡船で埠頭へと向かう。

今回の連絡船は、白と黒の縞模様に塗られたフューリアスっぽい艦であった。

艦を見て何か感想を述べかけたダージリンだが、おもしろいことが浮かばなかったのか、開けた口からは何も発せられること無く再び閉じられた。沈黙したまま、埠頭へとフェレットは運ばれ、会場へと車を移動させるオレンジペコ。いつもは饒舌なダージリンから格言の一つも出てこないので、何があったのかと不安になるほどであった。

お互い無言のまま会場に到着し、いつもの見学席を設営するオレンジペコ。





紅茶のセットを用意し、一息つくとやっとダージリンが口を開いた。
「大洗対アンツィオは、山岳ステージね」
「はい、そうです」
「来るまでの道も揺れて、フェレットではなかなか大変でしたわね」
それで静かだったのか、と納得するオレンジペコ。
「さて、あなたはどちらが勝つと思う？」
「この試合ですか」
「ええ、当然」
「……それは、戦力から大洗でしょう」
「相手の半分しか車輌が無くても？」
「半分といっても、アンツィオは豆戦車中心です。セモヴェンテも二輌しかないですし」
「ふふっ、そうね。でもグリーンの報告では新車輌が入ったそうよ」
「新車輌？」
その時打ち上げられる花火と、開会のアナウンス。
「ええ、ほら」
ダージリンが指さした先には、両チームの車輌が整列し、アンツィオの中央には濃緑色に塗られたひときわ大きな戦車が鎮座していた。
「あれは？」
「P40重戦車。あれがアンツィオの秘密兵器よ」

語る KATARU

第3回 カバさんチーム



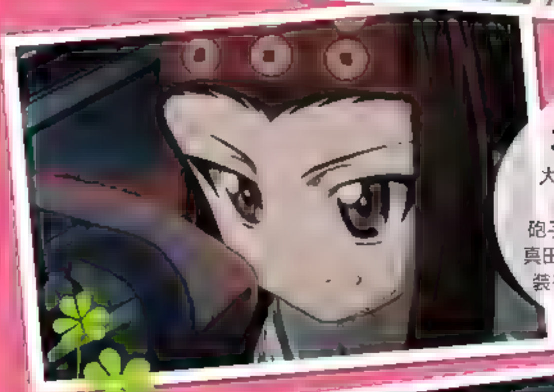




カエサル
大洗女子学園２年
〈普通科〉
装填手。ローマ史に精通し、八卦を使った占いも得意なリーダー



エルヴィン
大洗女子学園２年
〈普通科〉
車長＆通信手。欧州史が得意で、第二次世界大戦にくわしいドイツ軍びいき



左衛門佐
大洗女子学園２年
〈普通科〉
砲手。戦国マニアで、真田幸村を意識した衣装を身につけている



おりょう
大洗女子学園２年
〈普通科〉
操縦手。幕末史の知識なら誰にも負けない、坂本龍馬ファン

大洗女子では、強力な
部類に入るⅢ号突撃砲。
その性能を発揮すべく、
深い愛でⅢ号突撃砲に
[illegible]した皆さんに、
強さの秘密を
伺いました。

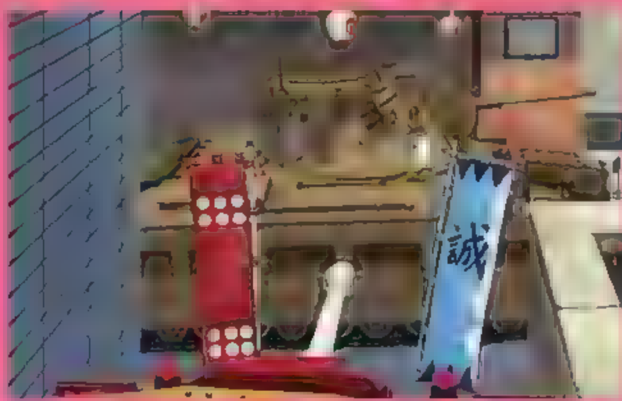
I ♥ PANZER
大洗女子チームメンバー
戦車愛を

SENSYA AIWO



「戦車の性能はカタログスペックだけではない。実際に使ってみてこそわかる物も多いのだ」







自動車部員の戦車整備録

えー、カバさんチームの車？　あそこは性能的にはとくに話すところは無いよ。うちの車の中じゃ攻装……じゃなかった攻走守の三拍子がそれなりに揃ってる数少ない車だし。信頼性も十分あるし、軽量化とかもいらなかったからね。強いて言えば欠点は、砲塔が無いから射界が少し狭いぐらいかな。でも、カバさんチームはそのために、リーダーと車長を別にして、二人で見張りをして、少しでも有利にしようとしてるんじゃないかな？　運用法もわかりやすいから、それに合わせるぐらいしか手を入れてないよ。後は元のでも問題はないけど、ベンチレーターの強化とか、エンジンのマッピングを多少機動性重視にしたぐらい？

一番の問題は、水の中にあった事だよね。幸い、水が冷たかったのか装甲は全然痛んでなかったけど、使えるようにするのは結構大変だったかな。電装系は総とっかえだし、当然バッテリーなんて死んでたし、グリスアップは当然たっぷりやったよ。というか、パワーユニットやギアボックスも一回全部降ろして、組みなおしだからね。とにかく、外せる物は全部外して、車体だけにして洗浄し直して、塗装も一回はがして塗り直したよ。そのうえで、全部品をネジ一本に至るまでチェックしたから。それもあって、信頼性は相当高くなってると思うよ。今回は信頼性重視、足回りとかも壊れないように入念に手を入れたから。みんなで新しい部品とか焼き入れして作ったりもしたし、実は動くようにするまでが結構な手間だったかな～。一番大変だったのはポルシェティーガーだけどね。あとB1bisも密かに大変だったけど、それと同じぐらいかな。動くようにするだけなら、Ⅳ号とかの方がよっぽど楽だったからね。ま、そのお蔭もあって故障無しで大活躍してくれたし、打てば響くかわいい孝行娘って感じだね。



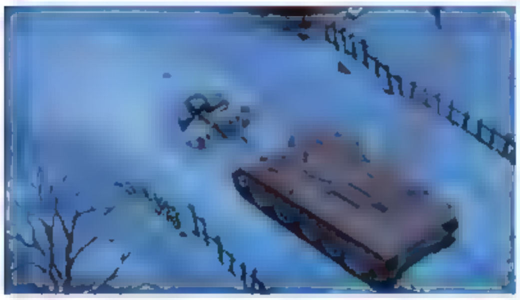


大洗女子学園 3年
自動車部所属 ナカジマ談









雪原用迷彩が威力を発揮

雪上戦が予想された対プラウダ高校戦では、II号突撃砲に冬季迷彩を施して参戦。天候にマッチした周到な準備が功を奏し、III号突撃砲は相手フラッグ車を倒して、逆転勝利の立役者となった。なお、履帯は滑り止めがついたヴィンターケッテに換装。深い雪の中でも、滑ったり沈んだりすることなく、安定した機動力を発揮した



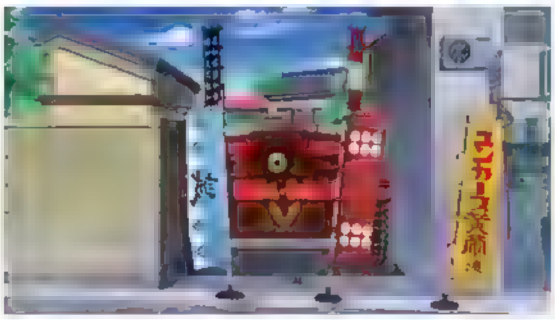






待ち伏せに有効だったのぼり旗

チームメンバーの趣味がすべて込められた塗装となったIII号突撃砲。これではかなり目立つのではないかと思いきや、聖グロリアーナとの親善試合では、のぼり旗を利用した都市迷彩で待ち伏せを敢行。見事にマチルダIIを撃破した。ただし、のぼり旗を再び車体につけたため、相手に見つかり返り討ちにあってしまった





大洗女子チームの「日常」

ORDINARY DAYS OF TEAM USAGISAN

第三話
「ウサギさん、入港です!!」

広い海をゆく巨大な学園艦は、航続距離も長大だ。それに生活物資はコンビニ船などの定期便で運ばれて来るので、かなりの期間洋上にとどまることができる。とはいえやはり船には違いないので、定期的に母港に帰る必要がある。燃料や水の補給、艦の整備などが主な理由なのだが――
「ねえ、明日どこ行く？」
澤梓が問いかける。
「私は、Tシャツ買いたいかな」
「予約してたブルーレイBOXが入荷してるはずだから、受け取りに行くー！」
すぐさま山郷あゆみと阪口桂利奈が答え、
「ブラウスとスカート、見たいな～」
「メガネ買っときたい」
宇津木優季と大野あやもそれに続く。そして最後に、丸山紗希がこくりとうなずいた。戦車の練習も終わって、学校からの帰り道。大洗女子学園うさぎさんチーム、M3中戦車に乗る六人の一年生たちは、明日の帰港を心待ちにしていた。学園艦から降りなくても、生活に必要なものには不自由しない。しかしやはり、陸のほうが買えるものの幅は広い。だから彼女たちにとって帰港は、貴重な買い物チャンスなのだ。
「じゃ、明日は八時に集まろう」
「はーい」
明日は学校もお休み。だけど梓は、ちゃんと朝起きて八時に集合することを提案し、ほかのみんなも賛成した。

× × ×

「まずは、洋服から見ていこうよ」
もともとなんとなくこの六人のまとめ役的ポジションだった梓は、M3中戦車の戦車長とうさぎさんチームのリーダーを兼任するようになってから、ますますその傾向が強まっているようだ。
「秋物の服、あるかな～？」
「いやさすがにまだ早いでしょ」
気の早い優季にあやがツッコミを入れたりしつつ、歩き出す六人。上陸を果たしたうさぎさんチームは、最初の目的地を大洗リゾートアウトレットに決めたようだ。
「んー……っ！やっぱり陸はいいよね～」
大きく伸びをしながら、あゆみが言う。少し後ろを歩く紗希も、気持ちよさそうに胸を反らし、深く息を吸う。その隣であやが言う。
「今日は試合じゃないし、丸一日遊んじゃおう！」
戦車道の試合は艦上ではなく陸上で行われる。このとき彼女たちは、すでに大洗での練習試合と全国大会の二回戦までの合計三回、試合のために上陸しているのだが、その場合やはり自由になる時間は少ない。つまりあやの言葉は、ひさびさの「休日の陸」を喜んでいることの表れだった。

× × ×

大洗リゾートアウトレットは、大洗港のすぐ近くにある。ほどなく洋服店に着いた六人は、それぞれ目当ての品を物色し始めた。
「わー、このワンピースかわいい～」
「いいんじゃない？優季には似合うと思うよ。私はこのTシャツでいいや」
優季とあゆみが、お互い選んだ服を見せ合っている。
「このトップスどうかな？」
「それって、肩がすごく出るやつで



ひさびさに学園艦が、母校の大洗町に帰ることとなり、ウキウキが止まらない一年生チーム。それもそのはず、彼女たちは貴重な陸でのショッピングタイムを満喫しようと、あれこれ計画を立てていた……。

しょ。ちょっと恥ずかしくない？」

あやがハンガーフックから引っ張り出した服は、オフショルダーのブラウス。それを、梓がたしなめる。一方で桂利奈は、靴下売り場であれでもない、これでもないとカラフルな靴下を取っ替え引っ替えしていて、その奥では紗希が二着のスカートを左右の手に持ち、黙々と見比べている。

「やっぱりこれにしよう～♪」

優季がさっき見ていたワンピースをレジに持っていくと、あゆみもTシャツを手に続く。二人が会計を済ませると、他の四人はすでに物色の手を止め、店を出たところで待っていた。

「あれ？ 買わないの？」

あゆみが問いかけると、桂利奈と梓、そしてあやが答える。

「靴下はまた今度！」

「私も、まだいいかな」

「メガネ高いし、洋服は当分がまんだよ－」

入港日はそう頻繁にあるわけではない。本音は、学園艦では買えないおしゃれな洋服をここぞとばかりに買いたいところだろう。でも、彼女たちはまだ高校生。自由に使えるお金には限りがある。欲しいものを手当たり次第に買うわけにはいかない。

それに――

「見るだけでも、けっこう楽しかったよね」

梓の言葉に、桂利奈、あや、紗希がうなずいた。そもそもウィンドウショッピングは楽しいし、六人一緒だともっと楽しい。洋服を買わなかった四人の顔が、そう言っているようにも見える。

「じゃ、次はどこに……」

「商店街でメガネ買いたい！」

梓が言い終えるのを待たず、あやが主張した。

「わたしも商店街！ BOX受け取りに行くお店があるから！」

「いいんじゃない？」

「あのへんは寄り道できるお店、たくさんあるよね～」

桂利奈はもちろんのこと、あゆみと優季も異論はないらしい。

「了解、じゃあ次の目的地は商店街で ……あ」

同意の言葉を口にする途中で、梓がふと我に返る。

「梓ちゃん、今のなんか戦車長っぽいね！」

「試合の時みたいだったよ～」

「う……染まってきてるのかな、私」

戦車道をやっているときの口調が意識せず出てしまったらしく、少しうろたえる梓。

「そりゃあんだけ毎日練習してたら、染まるよ。私なんて最近ちょくちょく、大砲撃つ夢見ちゃうし」

「あ、私も。でもなかなか当たらないんだこれが」

副砲砲手のあやと主砲砲手のあゆみの夢にも、戦車道の影響が及んでいるらしい。

「わたしは、授業中イスに座ってても



「そりゃあんだけ練習してたら、染まるよ。私なんて、大砲撃つ夢見ちゃうし」

戦車のことを思い出すと、右足に力が入っちゃうよ！」

桂利奈は操縦手。ペダルを踏み込む動きが、身体に染みつき始めているようだ。

「私も、携帯のメール打つの、前より速くなったの～」

通信手の優季はおっとりタイプで、機器の操作ものんびりしている。しかし一回戦で通信傍受の対抗策として、あんこうチームの武部沙織と相当な数のメールを短時間でやりとりしたおかげか、以前よりは速くなったらしい。

「あ、紗希ちゃん？」

ふと見ると、紗希が握った右拳をぐいっと前に突き出し、引っ込めている。

「紗希もお風呂に入ってる時、気が付くと右手が装填の動きしてることがあるんだって」

あゆみが紗希の言葉を言い直す。

「ちゃんとグーにしてるね」

紗希の動きを見て、素直に感心する桂利奈。

それにしても――梓は思う。まさか休みの日にまで戦車の話をするなんて、戦車道を始めたばかりの頃は想像もしていなかった。履修選択の時は、アニメと特撮が好きなので戦車に乗りたがっていた桂利奈は強く推していたけど、ほかの五人は自分も含めて「ちょっとおもしろそう。それに、特典がメチャメチャお得だし」くらいにしか考えていなかったはず。一番乗り気だった桂利奈ですら「こんなに毎日長い時間やるとは思ってなかったよ」と、戦車道が始まって一週間ほど経った頃にこぼしていたくらいだ。それが今や学園生活の一部、いや、もしかすると半分以上が戦車で占められているような気がする。

× × ×

「よし、これにしよっと！」

みんな揃って眼鏡店に到着すると、あやはあっさりフレームを選び、今は店の人があやの度数に合ったレンズをはめている。

「この出費はイタいなー。これっきりにしたいんだけど」

「プラスチックレンズにしたら？」

梓が提案するのだが、

「んー、あんまり好きじゃないんだよね、プラスチック。きれいに拭いてもキラッと光らないっていうか」

プラスチックレンズは、あやのこだわりに反するらしい。

「じゃあコンタクトは？　武部先輩もコンタクトだよ？」

「目の中に物入れるなんてありえないよー」

これも却下するあや。あやは昨日からメガネメガネと連呼していたが、それには理由がある。試合はおろか、最近は練習も本格的になってきたせいで、被弾しさらには横転することすらある。その衝撃でしょっちゅう割れるのだ。あやのメガネが。

「ほんと、このままだとメガネ貧乏になっちゃうよー」

あやはぼやくが、戦車道をやめるつもりはないらしい。だからこそ、なんだかんだ言いながらも予備のメガネを買いに来ているのだろう。そうこう言っている間に、店員がガラスレンズをはめたメガネをケースに入れて持ってきてくれた。

「よし、次行こー！」

あやの買い物は終わり、みんなで眼鏡店を後にして、次の店に向かう。

「ブルーレイのお店に行こう！」

桂利奈の順番が回ってきた。

「んー、やっぱりメガネもういっこ買っといた方が良かったかなー。よく壊れるし」

眼鏡店から離れつつ、なお逡巡するあや。

「大丈夫だよー　わたし、被弾しないようにがんばるっ！」

何の迷いもなく、桂利奈が言う。

「でもー、どうすれば今よりも当たらなくなるのかな～？」

「なるべくジグザグに走る……って西住隊長がいつも言ってるよね」

優季が素朴な疑問を差し挟むと、あゆみは試合中や練習中、いつもみほが出す指示を思い出して言った。

「なるべくそうしてるんだけどなー、ついそれを忘れちゃって、まっすぐ走ってる時にドーン！　ってやられるんだよね……」

「忘れないように手の甲に書いとけば？　『ジグザグ』って」

「うん、そうする！」

あやの思いつきに食いつく桂利奈。

「油性で書かないとダメだよ？　水性だとすぐ消えちゃうし」

「だよねー、すっごい汗かくから、水性だとあっという間に流れちゃいそう」

ペンは油性で、と具体的な方法まで提案するあやにあゆみも同意し、

「あの暑さだけはほんと、なんとかならないのかなぁ……」

いきおい、戦車内の蒸し暑さに辟易していることをこぼす。隣を歩く紗希も、こくこくとうなずいている。

「あれはつらい……ほんとにつらいよね……」

さすがの梓もこれについては「仕方ないから、がまんしようよ」とは言えないらしく、眉を八の字にして困り

こんなこともありました【生活編】

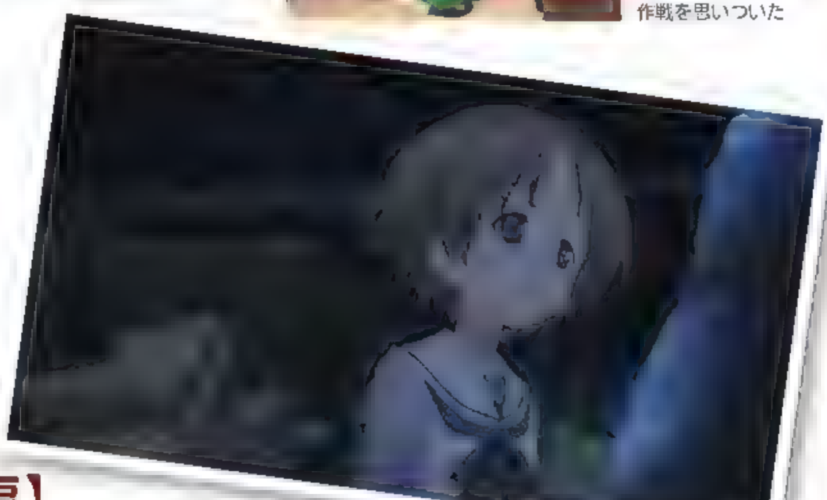




戦車の苦境に思わず涙



決勝戦前夜、戦争映画を鑑賞する一年生チームは、砲塔が回せずに撃破されるティーガーⅠに同情。だがこれがヒントとなり、エレファントを路地に追い込む作戦を思いついた



遭難したけど新戦車を発見

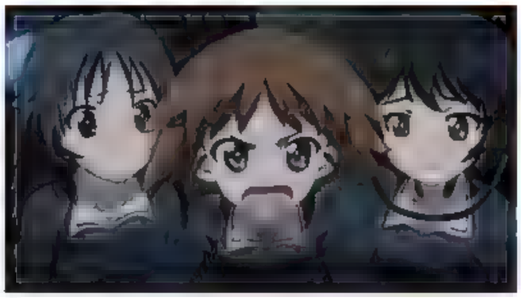


広い艦内で新たな戦車を探しているうちに、迷子になってしまった一年生チーム。ただし紗希だけは、ある一点を見つめていた。その視線の先には、遺棄されたポルシェティーガーがあった

あんなこともありました【試合編】

一年生チームは全員やればできる子

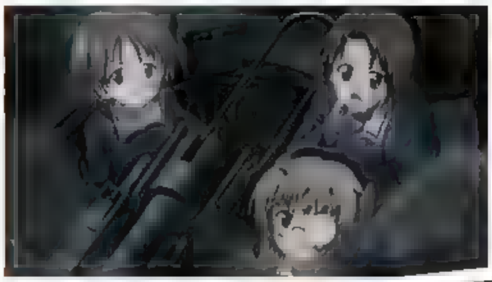
親善試合での経験を糧に一念発起した一年生チームは、全国大会で何度も撃破されながらも、目覚しい活躍を見せた。とくにプラウダ高校戦では、チーム全員が一丸となって奮戦。相手チームの砲撃からフラッグ車の八九式中戦車を守るため、危険を顧みず自らが盾となった

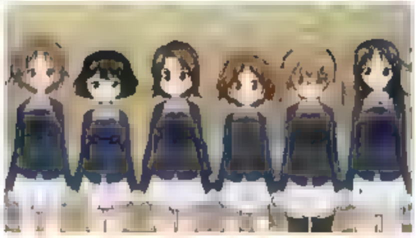


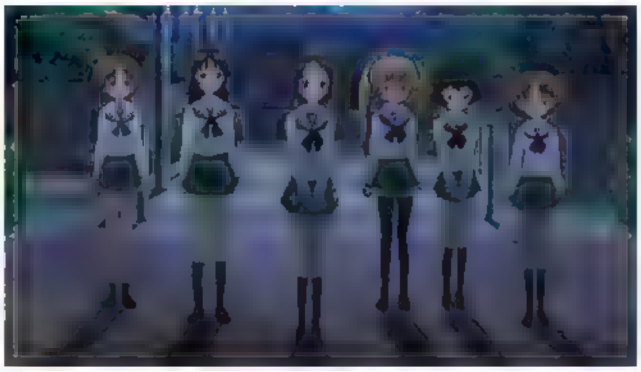
恐怖のあまり試合を放棄

聖グロリアーナとの親善試合で一年生チームは、相手の猛攻撃に恐れを感じて試合を放棄。だが、みほの健闘を見た一同は素直に反省し、次の試合では決して逃げないと心に誓うのであった













大金星に繋がった紗希の発言

決勝戦でエレファントの動きを封じたものの、厚い装甲に阻まれて仕留めることができない一年生チーム。だがここで、無口な紗希が、薬莢の排出口が弱点ではと指摘する。この一言が決め手となり、エレファント撃破という大金星に繋がった

顔だ。うだるような暑さの中でそれぞれが自分の役割をこなす――チームの中で一番まじめな梓ですら『つらい』と口にするくらいだから、高校一年の女の子にとってはかなりのきつさなのだろう。しかし――

「エアコン付けられないみたいだし、ミニ扇風機持ち込む？ 電池で動くやつ」

「おでこ冷やすシートあるじゃん？ あれ、どうかな」

きつくても戦車から降りるという選択は彼女たちにはないらしく、それぞれ戦車道経験者が考えもしないような暑さ対策を口にする。序盤で戦車を放棄し逃げ出した親善試合の時と今を比べると、彼女たちは確実に変わっていた。

× × ×

桂利奈がブルーレイBOXを受け取りに来た店には、もちろんアニメや特撮以外のドラマや映画も売られている。

「あ、戦車の映画だ」

待ちに待った予約商品を手にした桂利奈が、棚に並んでいる戦争映画のブルーレイを見つつ言う。

「これ、一回戦で相手の学校が乗ってた戦車……だよね？」

「ほんとだ、同じやつじゃん。あとこれは……どこの戦車だろ？」

その一角は戦争映画のコーナーで、ケースに戦車の勇姿が写っているものもいくつかあった。

「けっこうたくさんあるんだねー、戦車の映画って～。え？ なに、紗希ちゃん？」

棚を眺めつつ言う優季の隣に、いつのまにか紗希が立っていて、手には戦車をメインにしている映画のブルーレイを五つ持っている。

「これ……紗希が買うの？」

梓が聞くと、首を横に振る紗希。しかし、ブルーレイを棚に戻す様子もない。

「でも、ちょっと見たいよね。戦車の映画」

あゆみが言うと、紗希は小さく頷いた。

「こーゆーのちょっとおもしろそう！」

桂利奈も乗り気のようだ。

「……じゃあ、みんなでお金出し合って、買っちゃう？」

梓が切り出す。

「そうしよっか！」

「誰かの部屋に集まって、上映会やろうよ！」

「その時は、お菓子とか買おう！」

「楽しみ～♪」

賛成の声が集まり、こうして六人の共有財産を購入することが決まったのだった。

× × ×

戦車映画を買ったあと、本屋に寄ったり肉屋で買い食いしたりとみんなで商店街を端から端まで歩いて、そろそろ大洗港に戻る時間。桂利奈は予定していたブルーレイBOXだけではなく、途中で寄ったおもちゃ屋で衝動買いしたフィギュアの箱も持っていた。あやは、買ったばかりのメガネを、ケースから出してかけている。あゆみと優季は、洋服が入っている袋を持ち、満足げな顔。梓は前を行く四人を眺めながら、こう思っていた。今日って戦車に乗らなくていい日だったのに、気が付くといつの間にか戦車の話になってたよね――好きなことも得意分野も違う六人が、一つの戦車に乗って、みんなで動かす。よくわからなけどやっぱりこれって、楽しいのかも。ふと振り向くと、いつどこで買ったのか、紗希がソフトクリームを食べながら付いてきている。それを見て、思わず笑みをこぼす梓。結局なにも買わずじまいの梓だが、戦車のない一日をみんなと一緒に過ごせたおかげで、なにかをもらったような気持ちになっていた。

× × ×

「あれ？ うさぎさんチーム？」

アウトレットまで戻ってきたうさぎさんチームに気づいた沙織が、声をかける。

「あ、武部先輩！ あんこうチームの皆さんも、お買い物ですか？」

「うん。ほんとはもっと早く来るつもりだったけど、麻子がねー」

「休みの日くらい昼まで寝させろ」

苦笑しつつ言う沙織に、不満そうな顔で言い返す麻子。

「あはは……でもわたし、初めてアウトレットでお洋服買えたし、今日はいいお休みだったよ」

「私も、良い花器が買えて満足です」

微笑みつつ言う、みほと華。

「うさぎさんチームの皆さん、もう物資購入は完了でありますか？」

「はい、私たちは午前中から陸に上がってましたから」

優花里の問いに梓が答えると、

「じゃ、せっかく会ったし、ちょっと早いけどみんなで一緒に晩ごはん食べない？」

沙織が笑顔で誘う。

「はい、ぜひ！」

一斉に答えたうさぎさんチームの表情は皆、買い物で歩き通した疲れなどみじんもなく、明るかった。

ガルパントピックス

GIRLS UND PANZER TOPICS

今回は、全国14劇場での先行公開を控えたOVAの、最新場面写真を入手。その内容のほか、各ゲームとアイテムの情報をお届けします！



お互いに負けられない戦いのすべてが集約！

夢の全国大会三回戦進出を狙うアンツィオ高校と、絶対に優勝しなければならない大洗女子。すでに結果が判明しているとはいえ、両校の戦いは見ごたえたっぷり。とくに知恵を絞った作戦を用意するアンチョビと、試合で実行に移すペパロニの活躍が、勝敗を分ける大きなキーポイントとなるのだ。

もちろん大洗女子でも対アンツィオ高校用の作戦を立てるため、相手の情報を優花里が収集。歴女チームも自宅にみほを招いて、手に入れたP40重戦車のスペックを提供する。戦闘だけでなく、各ヒロインの私生活も垣間見られるOVA。その内容は、皆さんの目で確かめて欲しい。

OVA

[illegible]

ヒロインたちの知られざる私生活

今回のOVAでは、歴女チームの私生活を公開。TV版本編では見られなかった、私服姿が堪能できるのだ。新たな友情物語にも、要注目なのだ



その2 ダイナミックで迫力ある戦車戦

PVで一部の戦闘シーンが公開されているが、OVAではさらに激しい戦車戦が展開される。とくにスピード感あふれるCV33と、八九式中戦車に注目。カーチェイスのような場面に、目が離せない！



アニメでイタリア戦車が動くところも、コアなミリタリーファンにとって、楽しみな要素であろう

知略をつくして大洗女子を翻弄

奇抜な作戦といえば、大洗女子の得意技。だがアンツィオ高校は、大洗女子に勝るとも劣らない奇策で試合に臨む。アンチョビたちの作戦に翻弄される大洗女子が、どのようにピンチを打開するのか!?　その思いがけない試合ぶりにも、注目して欲しい



☆キャスト登壇の舞台挨拶多数開催！☆

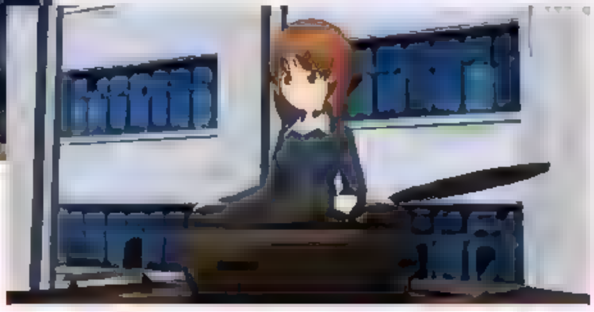
- 7月5日(土)：新宿バルト9(東京)・シネマサンシャイン池袋(東京)・TOHOシネマズ日本橋(東京)
- 7月6日(日)：梅田ブルク7(大阪)・伏見ミリオン座(愛知)
- 7月19日(土)：MOVIXさいたま(埼玉)・シネプレックス水戸(茨城)
- 7月20日(日)：大洗文化センター(茨城)

各劇場の他、作品の舞台・大洗町でも舞台挨拶付きの上映が急遽決定！
それぞれの登壇者やチケット販売方法は、公式サイトをチェック！

自らの手で極められる自分だけの戦車道！

TV版本編の興奮を、自らの手で再現できるストーリーモード。そのハイライトは、やはり大洗女子対黒森峰であろう。ゲームでは、アニメでの名シーンを忠実に再現。出現条件をクリアすることで、あんこうチーム以外の立場で、決勝戦にも臨めるのだ。また初回限定生産版には、P40重戦車のプロダクトコード封入など豪華特典がいっぱい。この機会に、必ずゲットして欲しい。





決勝戦は熱い姉妹対決

TV版本編でも屈指の名場面である、みほとまほの対決。その模様は、緻密な3DCGで見事に蘇っている。ここまでの道のりは長く苦しいものだと思うが、最後まで諦めずにプレイして貰いたい

初回封入特典



OVAを先取りして、アンツィオ高校が誇るP40重戦車のプロダクトコードを封入。アンチョビが秘密兵器と自慢する実力を、その手で確かめよう

※写真・イラストはイメージです。実際のものとは異なる場合がございます。※内容・仕様は予告無く一部変更になる場合がございます。※数に限りがございます。無くなり次第終了となりますのでご了承ください。※一部店舗では取扱いのない場合がございます。詳しくは店頭にてお問い合わせください。※本特典は初回限定生産版と通常版の初回生産分のパッケージに封入されております。※プロダクトコードをご利用いただくには、インターネット接続環境が必要です。また、Sony Entertainment Networkのアカウントが必要です

米独の戦車が激突



バトルロイヤルモードの楽しみ方は、千差万別。第二次世界大戦のライバル対決や、好きな戦車だけ集めて戦うなど、自分だけのプレイを見つけて欲しい

PS Vita



マウス　ティーガーI　KV-2　T-34/76

ボードゲームで戦車道を再現！

ガルパンの戦車道が、対戦型ボードゲームとして登場。内容は、多彩なコマとカードを使って試合を勝ち抜くというもの。マップは大洗町ほか、TV版本編で登場した試合場などが用意されており、大洗女子や各チームのほか、独自の編成も可能。ルールを解説したDVDも付属されており、初心者でも安心です。



ボードゲーム



マップは大洗町のほか全6種類。ヒロインや戦車のコマは154個もあり、96枚のカードであらゆる戦術に対応しています。さらに、初心者でもわかりやすい解説DVDも同梱

部隊の構成はお好みのまま！

キャラクターと戦車に分かれたコマを使って、チームを編成。たとえ弱い戦車でも、強いキャラクターと組み合わせることで、意外な活躍が期待できます



カードを駆使して戦車を操作！

アクションやイベントなど、5つのカテゴリーに分かれたカードでゲームを進行。カードの効果を使って、チームを勝利に導こう



アイテム情報

ガールズ&パンツァー アクセサリーセット for PlayStation Vita

前面フルカラー印刷のフェイスカバーやハードポーチのほか、クリーニングクロス、あんこうマークのクリーナーストラップを合わせた4点セット

●PS Vita用アクセサリーセット
●4,280円(税抜)
●6月26日発売予定
●発売元:HORI

※本品にPS Vita本体は付属しておりません
※本品はPS Vita(PCH-2000シリーズ)専用です。PCH-1000シリーズではお使いになれません



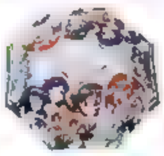
ねんどろいど 秋山優花里



ついに秋山優花里がパンツァージャケット姿で、ねんどろいどシリーズに登場。凛々しいキメ顔や照れたニヤケ顔など、劇中見せた、さまざまな表情が楽しめます。さらに専用台座も付属されており、ポーズを決めたままでのディスプレイをアシストしてくれます

●ねんどろいど　●3,889円(税抜)
●8月発売予定
●発売元:グッドスマイルカンパニー

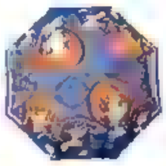
ガールズ&パンツァー 折ITAGASA



サイズは55センチと、外出時にちょうどいい長さ。収納に便利な共袋もついており、バックなどに入れても内部を濡らすことがありません

●折りたたみ傘(共袋付)　●8,000円(税抜)
●6月下旬発売予定　●発売元:シーズナルプランツ

ガールズ&パンツァー 長ITAGASA



使い勝手のいい、58センチの長傘。聖地巡礼や各イベントはもちろんのこと、普通のお出かけでも使用してみてはいかがでしょうか

●長傘　●8,000円(税抜)　●6月下旬発売予定
●発売元:シーズナルプランツ

初めて明かされる、アンツィオ高校戦前に起きた大洗女子でのさまざまな出来事
ガールズ&パンツァー ドラマCD2 もうすぐアンツィオ戦です！

【収録内容】
1. もうすぐアンツィオ戦です！
2. アルバイトです！
3. 不肖・武部沙織のイタリア料理講座

【出演】西住みほ(渕上舞)　武部沙織(茅野愛衣)　五十鈴華(尾崎真実)　秋山優花里(中上育実)　冷泉麻子(井口裕香)ほか

TV版本編とOVAの間をつなぐ物語がドラマCD化。二回戦を控えた大洗女子で、何が起きていたのか!?　豪華な声優陣にも注目！



●ドラマCD　●3,000円(税抜)　●6月25日発売予定
●LACA-15415　●発売元:ランティス

ガルパン メイキング ログ！【本読み＆各種取材編】

本読み（シナリオ打ち合わせ）



本読みには、水島監督以下、吉田さんや鈴木さん、設定制作を担当する真庭健蔵さんなどが出席。毎週、定例的に行われ、さまざまなアイデアが検討された。また本読みを重ねることで、出席した各人の役割分担が明確になり、スムーズに打ち合わせが進んでいったという。



雑談形式とはいえ、物語の鍵となる部分はしっかりと打ち合わせするスタッフたち。その表情から、真剣な様子が伺える



模型戦車を使って試合での作戦を検討

本読みの席では、ガルパンに登場する戦車の1:35スケールの模型が多数用意された。これは、戦車の大きさや大洗女子の作戦を確認するためのもので、マウスの上に八九式中戦車が乗るかなどの検証に使用された。

試合の戦術面では、戦車にくわしい鈴木さんがきっちりと監修。戦車模型も、各戦術のアイデアを出すうえで、重要なアイテムとなった











とにかく、集めるだけ集めた戦車模型の数々。すべて1:35スケールで統一した模型を並べることで、大きさの比較や各戦車の違いが一目瞭然となった

あらゆる資料を集めて詳細を検証

Ⅳ号戦車など、メジャーな車輌であれば簡単に入手できると思われた資料。だが実際には、内部で操作するためのレバーや装置の資料はほとんどなかった。そこで、鈴木さんや杉山Pなどがあらゆるコネクションを使って、内部資料をかき集めた。







集められた資料を元に、戦車の操作方法などを確認。白熱したスタッフ同士の打ち合わせが続いた



資料の収集では、鈴木さんが海外から写真を入手するなど大きく貢献。そのネットワークの広さを見せていた

雑談から生まれたガルパンの物語

本読みとは本来、主要スタッフが制作中のシナリオを読んで、お互いに意見を出し合って精査する作業。ただしガルパンの場合、少し違った形式で本読みが行われた。

「本読みではだいたい、水島監督と考証・スーパーバイザーの鈴木貴昭さん、そして私がマニアックな戦車ネタで盛り上がって、それを脚本の吉田玲子さんがメモしていました。ただし脱線が続くと、湯川淳チーフプロデューサーが引き戻す感じでした」と語るのは、本読みに参加した杉山潔プロデューサー（杉山P）。吉田さんにとってガルパンは、初めて扱う戦車アクション。この雑談が、ユニークな作戦の源となったようだ。

「最初は鈴木さんが簡単な概念図を描きましたが、次第に吉田さんも慣れてきて、鈴木さんが書いたメモで間に合うようになりました」（杉山P）

こうした打ち合わせを重ねることで、ガルパンはまれに見る傑作として視聴者に届けられるのであった。





キャラクターの動きを想像しながらの収録は、声優さんにとっても大変だったはず。スタッフたちも、この収録でキャラクターの実像を掴んでいったという





サウンドドラマ収録 (2012年7月20日)

これはガルパン放映前に、公式HPで配信されたドラマ収録の模様。まだ動画がない状態での収録だったが、逆にサウンドドラマを経験したことで、声優さんたちはスムーズに本編のアフレコへと臨めたようだ。

BGM収録(2012年7月30日)

BGMの収録では、金管楽器が中心という編成で行われた。これは、今までのアニメBGMでは見られなかった編成で、楽器も特殊なものを用意。こうしたこだわりが、ガルパンののびのびとした雰囲気をアシストする、楽曲作りへと繋がった。



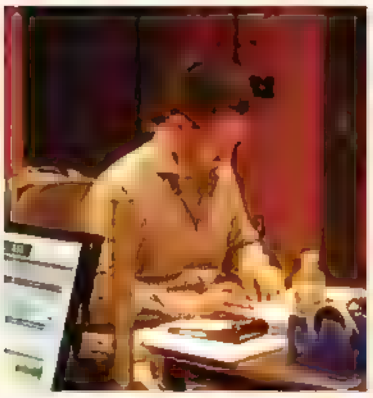


収録に集まったミュージシャンたちは、金管楽器中心の収録を、めずらしがりながら楽しんでいたという









収録ではBGMを作曲した浜口史郎さんが、仕上がり具合を細かくチェックしていた



写真上の楽器は、トランペットより丸く柔らかい音色が特徴のコルネット。写真右のベルノフという鉄琴とともに、ガルパンのために用意された楽器である



Girls und Panzer Event Report

ガルパン・イベントレポート

前回、速報でしかお伝えできなかった海楽フェスタ2014を始め、注目イベントの模様を紹介。OVAやゲームの発売に向けて、ますますガルパン愛にあふれるキャスト陣のステージトークを中心に、各イベントの様子をレポートしちゃいます！

大洗春祭り 海楽フェスタ2014

楽しさいっぱい!!

2014年3月30日、茨城県・大洗町で「大洗春祭り　海楽フェスタ2014」が開催。あいにくの悪天候にも関わらず、昨年と同じく約5万人もの観客が詰めかけた。

午前11時からのステージイベントには、渕上舞さんや尾崎真実さん、吉岡麻耶さんが登場。質問の答えに対して、多くの拍手を送られたキャストに1ポイントが与えられるミニゲーム形式で、トークが進行した。1問目は吉岡さん、2問目は尾崎さんが各1ポイントずつゲット。そして後がなくなった渕上さんは、最終問題にかけられた100ポイントを目指して「公開予定の劇場版で、大洗町のどこが破壊されるか？」という質問に「大洗まいわい市場」と回答。常盤良彦さんほか、大洗町の皆さまに本人役として出演してもらうと答え逆転優勝を果たした。そして、最後は恒例となった「パンツァーファー」で、トークは締めくくられた。



集まったファンの熱気が天に届いたのか、ステージイベントが始まると同時に、雨が降り止み始めた



雨も吹き飛ばす熱狂のトークショー！









戦車道＆サッカー道を社長が熱烈アピール



「水戸ホーリーホックPRタイム」では、沼田邦郎社長がマスコットキャラ・ホーリーくんを伴ってステージに登場。ガルパンの戦車道が教えてくれた友情の大切さと、サッカーに必要なチームワークとの共通点を熱弁。集まった観客を、大きくうなづかせていた

難問だらけの第2回ガルパン早押しクイズ



商店街で行われた「第2回ガルパン早押しクイズ大会」では、進行役として杉山Pと常盤さんが登場。「第7話の鍋を囲むシーンで、桃ちゃんが来ていたジャケットはどこの国のもの？」などの問題を繰り出した。そして、優勝した参加者を、サプライズとして登場した、渕上さん、尾崎さん、吉岡さんが表彰。クイズ大会は幕を閉じた



凛々しい姿で演奏！「BLUE-HAWKS」



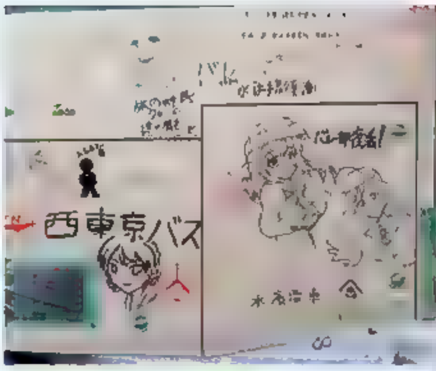
県立大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」の演奏では、雨足が強くマーチングのフォーメーションは見られなかったものの「戦車道行進曲！ パンツァーフォー！」を含めた3曲を披露。迫力と美しさを兼ね備えた音色を、会場中に響き渡らせた

商店街もイベントで盛りだくさん！

オーアライダー路上プロレス

大洗町が生んだ覆面の海人戦士・オーアライダーが、ダーイシ選手を相手に大暴れ。商店街中で、激しく楽しいファイトを繰り広げた

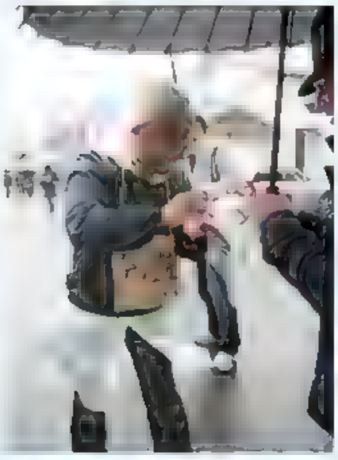






ガルパン落書きバス

商店街に設置された、茨城交通による「ガルパン落書きバス」。一時は大雨で中止かと思われたが、茨城交通の尽力で予定通りにスタート。訪れたファンの手で、熱いメッセージやイラストが書き込まれた





大洗市街地総合演習 ～総市演2014春～

商店街全体を使った「総市演2014春」は、配布された指令書のミッションをクリアして、スタンプをゲットするRPGゲーム。常盤さんや肴屋本店の大里明さんが、笑顔で参加者に対応していた

（写真提供・大洗観光協会）



OVA&ゲーム最新PV公開とあんこう花火に湧いた前夜祭

[illegible]をいち早く解禁！



大洗町商店街各所で初公開された、OVA&ゲームの最新PVに、大勢のファンの目が釘付けに。CV33がドリフトするシーンでは、驚嘆の声が上がった



キャストも参加した花火大会



海楽フェスタの前日・29日には、前夜祭を挙行。花火大会では渕上さん、尾崎さん、吉岡さんが発射合図を担当した。3人は、あんこう花火があんこう型に開くたびに、歓声あげて大喜び。花火を打ち上げた後にステージへと現れ、ファンと楽しいひと時を過ごした



眠気も覚めるミッドナイトトークショー



前夜祭の締めくくりとして、深夜11時30分より「潮騒の湯」にてトークショーが開催。イタリア軍研究家・吉川和篤さんや「ガルパンの秘密」を編集した武田朔政さん、杉山PがOVAにまつわるトークを展開した。また最後には、常盤さんと大里さんが登壇。集まったファンにお礼を述べていた







テント村で大使がお出迎え

大洗大使こと杉山Pのパネルが、グッズを販売するテント村に展示。一緒に記念撮影するファンに囲まれていた





新たなスタンプラリーが始動

「戦車道少女寫眞集　壱」（発行：アクタス）の発売を控えて、商店街ではイラストの展示とともにスタンプラリーを開催。5つのスタンプを集めると、特製のアンチョビバッジがプレゼントされた



ニコニコ超会議3 PS Vita「戦車道、極めます!」
スペシャルステージ 戦車模型、作ってみた

千葉県・幕張メッセにて2014年4月26〜27日にかけて開催された「ニコニコ超会議3」では、初日の26日にバンダイナムコブースにて、「ガールズ&パンツァー 戦車道、極めます!」ステージが行われた。このステージでは、中村桜さんのほか、マックスファクトリーのMAX渡辺代表取締役と高久裕輝さんが登壇。「戦車模型、作ってみた」と題して、鉛筆やコピックなどを使って簡単に、戦車模型を仕上げる技法が紹介された。

とくにコピックを使った汚しのテクニックでは、塗装作業につきものの換気も要らないとあって観客もビックリした様子。MAX渡辺さんは「いくらでもやり直せるので、ぜひ楽しんで欲しいです」と観客にアピールした。



ステージの前半では、バンダイナムコゲームス・守山朗子さん(写真右側)が、ゲーム内容を解説。同席していた中村桜さん(写真中央)を興奮させていた

簡単なテクニックで模型がグレードアップ



バンダイナムコブースでは、あんこうチーム5人のパネルと1/2スケールの八九式中戦車を展示。同ブースを訪れた、観客の目を楽しませていた



水戸ホーリーホック×ロアッソ熊本
戦車道パーク

2014年4月29日、茨城県・ケーズデンキスタジアム水戸での、水戸ホーリーホック対ロアッソ熊本の試合に合わせて実施された「戦車パーク」。これは、みほが通う大洗女子を水戸ホーリーホック、まほの黒森峰女学園をロアッソ熊本に見立てた姉妹対決企画で、スタジアムにはIV号戦車(日照プラント製)ほか、さまざまなガルパン関連展示物が集結した。なかでも注目を集めたのが、月刊ホビージャパンにて掲載中の、山田卓司さんによるジオラマの展示。精巧な実物を前に、来場者は食い入るように作品を眺めていた。試合の方は、0対0の引き分けとなったが、イベントは盛況のうちに終了した。







大段幕の前に、ずらりと並んだガルパン関連展示物。ロアッソ熊本のサポーターも、思わず記念写真を撮っていた







マチ★アソビ Vol.12
スペシャルトークショー

2014年5月3〜5日、徳島県徳島市で開催された「マチ★アソビ Vol.12」。その初日となった3日、渕上舞さんと吉岡麻耶さん、そして杉山Pと廣岡祐次宣伝Pを迎えてのトークショーが行われた。4人のトークは、当時終わったばかりというOVAアフレコ時のエピソードから始まり、物語の見どころへと突入。スケッチブックにハイライトシーンを記入する企画では、吉岡さんが「はっきゅんのおしり」と書いて、観客の喝采を浴びていた。また、渕上さんは「健闘を祈ります」のセリフに苦労したとか。一体、どのような内容がOVAで描かれるのか、ますます謎が深まったトークショーであった。

バックトゥザ← カーニバル
BACK TO THE CARNIVAL

過去に開催された、ガルパン関連イベントのアーカイブコーナー。今回は、感動の涙と笑いに包まれた一大イベント「ハートフル・タンク・カーニバル」を振り返り、当時の熱狂ぶりをお伝えします。

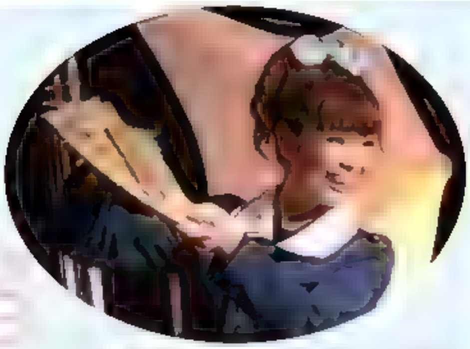
ハートフル・タンク・カーニバル
2013年4月28日　東京・ディファ有明

大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」の演奏で始まったイベントは、渕上舞さんを始めとしたあんこうチーム5人が登場。ところがオープニントークの途中で、サプライズゲストとして福圓美里さんを含めた生徒会チーム3人が乱入。「第63回戦車道全国高校生大会表彰式」と銘打った、アニメ本編で活躍した選手の投票結果を予想するクイズや、生ライブが披露された。またイベントの最後で、OVAと劇場版の制作が発表され、会場は歓喜に包まれた。





「BLUE HAWKS」の演奏に迎えられたあんこうチームの声優陣は、「それゆけ！ 乙女の戦車道!!」を歌唱。観客のボルテージを一気に引き上げた

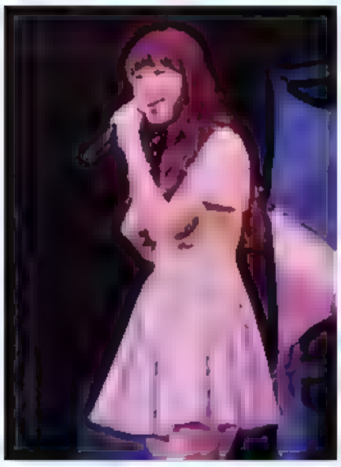


ファンが選ぶ最優秀選手賞は、みほが1位を獲得。渕上さんは賞品の干し芋一年分を獲得した





クイズコーナーでは、井口裕香さんが珍回答を連発。「もっとも活躍した高校」という問いに「クロ●ティ高校」と答え、司会役の生徒会チームから、するどいツッコミを入れられていた







イベント後半では、声優陣による生サウンドドラマのほか、ChouChoさんがOP曲「DreamRiser」を熱唱。観客から熱い声援を浴びた

会場の外では、大洗町の皆さんが物産展を開催。ガルパングッズに混じって、新鮮な野菜やあんこう汁が販売され、またたく間に売り切れてしまった





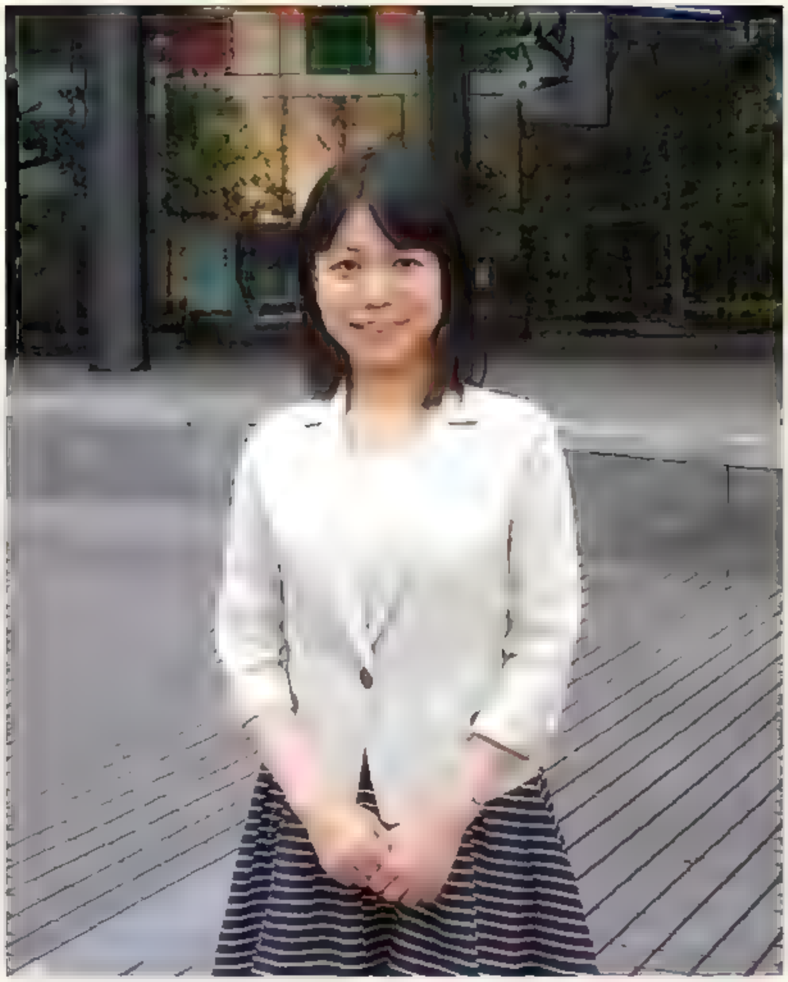




新作の制作を知らなかったあんこうチームは、発表を聞いて大感激。中上さんは「ヒャッホー、最高だぜー！」と、喜びを爆発させた

PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer

発売を控えたPS Vita「ガールズ&パンツァー 戦車道、極めます!」の開発秘話や、ガルパンとタッグを組んだ茨城交通の取り組みを、各キーパーソンに直撃してみました。



守山朗子

もりやまあきこ ● PS Vita「ガールズ&パンツァー 戦車道、極めます!」プロデューサー

3月27日生まれ、長崎県出身。
（株）バンダイ入社後、玩具の企画開発などを経て、（株）バンダイナムコゲームスで家庭用ゲームやスマートフォンコンテンツを担当

すべてが魅力的だった ガルパンの物語

――いよいよ、6月26日にゲームが発売されます。現在の率直な心境を教えてください。

　2013年のあんこう祭でゲーム化の発表をさせていただきましたが、その時の会場の雰囲気は今でもしっかり憶えています。ガルパンをゲームに、という気持ちは早い段階からあったのですが、中途半端なものを作ってしまっては、ファンの方々には届かないという思いもありました。さまざまな調整を経て、結果的には信頼できる開発パートナーと一緒に制作できることになったので、今はいよいよだなという感じです。

――なぜ、ガルパンをゲームにしようと思われたのですか？

　本当にガルパンは、すべてにおいて魅力的な作品だったからです。キャラクターにもそれぞれチャームポイントがあって、ファンの方々がすごく思い入れを持って大切にされているのはもちろん、戦車戦もしっかりと描かれていたので、そこに自分の気持ちが入ってしまいました。もし、自分が戦車に乗ってみたら、楽しいんじゃないかという気持ちも、ガルパンを見ながら湧いてきました。そういう意味でガルパンをゲームにすると、ファンの方々にも楽しんでいただけるのではないかという予感がしました。そこで、皆さんが大好きなガルパンの世界を、ゲームの中に込めていきたいと思いながら開発を進めていました。

アニメの世界観を 大切にしたゲーム開発

――ゲーム制作にあたって、重視したポイントは？

　やっぱり、アニメの世界観を壊さないことが一番でした。ただ戦車だけを追いかけた硬派なものでもなく、キャラクターだけがワイワイしているだけでもないバランスでしょうか。それこそ戦車を動かしているときに、どのようにキャラクターを表示するかには注意を払いました。よくゲームでは、キャラクターの立ち絵が出てきて会話をしますが、ガルパンでは少し違う見せ方がいいかなと考えていました。そこで、アニメの中でキャラクターがウィンドウで登場する場面をモチーフに、ゲームでも表現させていただきました。

――やはり、ストーリーモードでの大洗市街戦が、ファンにとって気になるところだと思います。

　ゲーム用として遊びやすいマップにはなっていますが、ポイントごとに町並みは再現しております。実際に私も何度か大洗町におじゃまさせていただき、写真を撮って開発チームに渡しておりました。その取材で感じたことですが、大洗町全体がガルパンと融合して応援していることが、すごいなと思いました。それに町自体が魅力的ですし「戦車が突っ込んだシーンの旅館がここなんだ」と、すごくテンションが上がりました(笑)。

――アニメと同じシチュエーションを作り込んでいくうえで、気をつけた点は？

　全体的なストーリーはアニメ同様ですが、やはり戦車戦なので勝敗が関わってくるんです。そのあたりのバランスが難しかったですね。でもゲームならではの、if展開も楽しんで欲しいです。例えばアニメのウサギさんチームは、聖グロリアーナ戦で途中棄権してしまいますが、ゲームでウサギさんチームを選択すると、市街戦でも活躍できるんです。

　基本的に、あんこうチームの視点でミッションがスタートしますが、大洗女子チームそれぞれの戦車を軸にしたシステムもあります。実際には各チームのミッションは、それぞれの出現条件をクリアすることで開放されるシステムになっています。同じステージでも、チームによってミッション内容が異なるものもあるんです。

――ゲームのミッションに合わせたキャラクター同士の会話も、かなり楽しめそうですね。

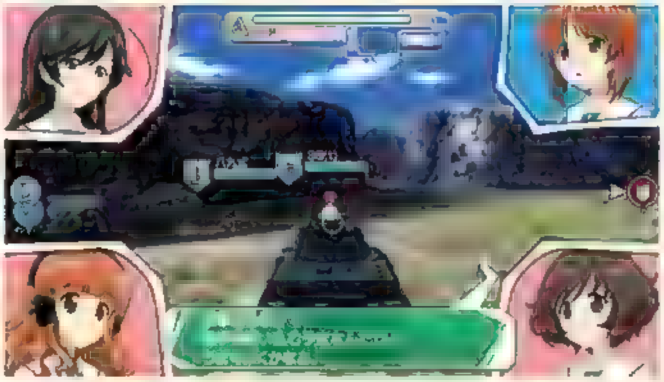


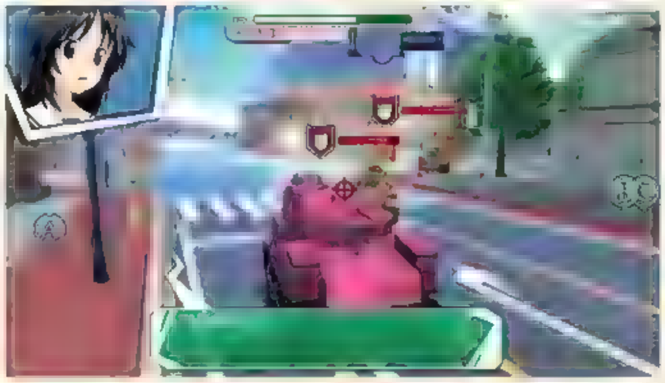




プロジェクト
～ガルパンを支えた人びと～

機動力を活かせば八九式中戦車でも、めちゃくちゃ活躍できるかもしれないですね。









アニメの中でのセリフもかなり入れましたが、if展開やバトルロイヤルモードでは、キャラクターの特徴や戦場のシチュエーションに合わせた会話が入れられたらと意識しました。プラウダ高校とサンダース大学付属が雪上戦をやるときには、サンダース側が、寒くてやっていられないというような会話が、ちょくちょく入っています。

やり込むことで増える ゲームの楽しみ方

――ゲーム用の戦車CGを制作するにあたっての苦労は？

やはり、アニメの設定に忠実なCGモデルを作り込むところですね。どこまで細かくディテールアップできるか、ゲーム容量との兼ね合いを見ながらCGチームと最後まで調整をかけていました。とはいえ、CGチームにもすごく戦車が好きな方々もいましたので、こだわりを持って戦車CGを作り込んでおりました。

――各戦車の特徴も、実際に操作して感じられるものですか？

すごく感じると思います。重戦車と軽戦車では、やはり移動スピードが違いますし、割とバランス良く変化をつけています。装填速度も戦車ごとに異なっていますし、Ⅲ号突撃砲は砲塔が回らないので、ちょっとテクニックが必要になると思います。

――八九式中戦車だと、機動力はあるけど、なかなか相手を撃破できないとか？

逆にゲーム中では、機動力を活かして戦っていただければ、もしかしたら八九式中戦車でも、めちゃくちゃ活躍できるかもしれないですね。

――バトルロイヤルモードでは、最初にどの戦車が選べるのですか？

バトルロイヤルモードは、ストーリーモードの聖グロリアーナ戦をクリアしたあとに開放されるんです。そのあとは、各ミッションをクリアするごとに、使用できる戦車も増えていきます。

――では最初に、ストーリーモードをクリアしたほうがいいのですね。

そうですね。ただバトルロイヤルモードでは、戦車ごとにコストが割り振られていて、チームにも使用コストの上限が設定されています。バトルロイヤルモードをクリアしていくことで、チームのコスト上限が増えていくので、どんどん遊んで勝利を積み重ねていただきたいですね。

また、たくさん戦車を集めて、いろんな組み合わせで遊んでいただければいいですね。好きな戦車だけ集めてもいいですし、各校の編成を作って夢の対戦を実現させるのもいいですし。自分だけのシチュエーションを楽しむのもいいですね。

初回限定生産版も お楽しみ要素が満載

――ちなみに、好きなキャラクターは誰ですか？

困りましたね。皆さん、それぞれでステキなので迷います。でもダージリンさんの、優雅な物腰には憧れますね。私も戦車の中で紅茶を楽しんでみたいです(笑)。本ゲームでは特典で、イラストと新規収録したドラマ「朝まで生戦車」をつけていますが、その中でもダージリンさんはいい味を出しています。

――どんな内容ですか？

ヒロインたちが戦車について語り合ったり、各校学園艦の自慢話をしています。また後半にはお悩み相談コーナーがあって、あるキャラクターが抱える恋の悩みについて、アドバイスしたりします。収録時間も40分くらいあって、結構ボリュームたっぷりです。またあんこうチーム声優陣による、お茶会クロストークもついておりまして、こちらはゲーム音声収録時の思い出や、戦車にまつわるガールズトークが展開されます。盛りだくさんの特典とともに、ゲームを楽しんでいただければと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

プロジェクトG
PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer
～ガルパンを支えた人びと～



任田正史

とうだただし ● 茨城交通株式会社 代表取締役社長

1963年生まれ、石川県出身。
コンサルティング会社、事業再生会社などを経て、2010年4月より、水戸市を中心に県央・県北にてバス事業を展開する、茨城交通社長に就任。おもしろそうなことには、無節操に食いついてしまう習性あり

茨城交通とガルパンの出会いとは!?

――御社がテレビアニメとコラボするのは初めてですよね。参加するきっかけはどのようなものでしたか？

ストーリーを聞いても、ガルパンがどういうアニメになるのかさっぱり想像がつかなかったというのが、正直なところです。でも、大洗町とガルパンを取り持つ常盤さん、バンダイビジュアルのプロデューサーである杉山さんが、おもしろい作品になると一生懸命に説明していました。2人が誠実に熱く語ってくれたのが参加する大きな要因でした。

この人たちが熱心にやろうとしていたことで、自分も引き込まれていったんです。話を聞いていて何かおもしろいことが起こるんじゃないか、という予感もありましたね。どういう形になるのかまったく想像はつかなかったですけれど、何か生まれるかもと思ったんです。なら、こっちもおもしろくやって一緒に楽しんでいこうという想いにさせられちゃいました。

――ガルパンとコラボする前はアニメ作品に対して、どんなイメージを持っていましたか？

最近のアニメはどんなものか、まったく分からなかったんです。最初は「パンツァー」とは「パンツ」のことだと思っていたくらいで（笑）。どんな作品になるのか、女子高生が戦車道を修める世界なんて、普通は思いつかないじゃないですか。

ガルパンは2回くらい通して観ました。とてもていねいな作りで、リアリティがすごいなと感じました。女子高生たちの努力と友情というストーリーもしっかりしていて、話数を重ねていくうちにどんどん引き込まれていきました。休日にまとめて観たんですけど、頭の中でED曲の「エンターエンターミッション♪」が止まらなくなるんですよ。布団の中に入っても聞こえてくる（笑）。

――ちなみに、社長が好きなキャラクターは誰ですか？

バレー部が結成したアヒルさんチームですね。誰というわけではなくチーム全体が好きです。彼女たちの存在が、ストーリー全体の中でいいアクセントになっていたので。

数々の苦難を乗り越えラッピングバス完成へ





――コラボはラッピングバスを走らせることから始まりましたね。

アニメのラッピングバスという発想はわれわれにはなかったですし、世の中にないやり方だなと思いました。それでうちのバスが使われるんだったら光栄だなと。ただどんなものになるのか予想できませんでした。急遽決まった企画だったこともあって、デザインを全然見ることができなかったんですよ（笑）。

ラッピングバスは申請にかかる期間がかなり長いんです。公共交通機関として公序良俗に反しないという要件が前提になるので、審査自体は問題なく通るだろうと思っていたんですけれど、2012年11月のあんこう祭に間に合わせるための日程がきつかったですね。連日深夜まで作業していただいた常盤さん・杉山さん・勝





ガルパンに力があるからこそ、みんなで作り上げることができたと思うんです



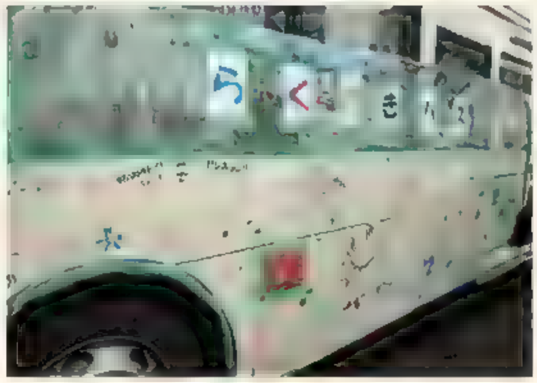
手にガルパン応援団（以下、KGO）の方々には、非常に感謝しています。

――完成したバスの感想は？

これが走るのか、と驚きました。今までのバス会社にはないデザインでしたから、走ると相当インパクトあるな、と思いました。常盤さんたちに完全に乗せられてしまい、ガルパン応援のホームページを立ち上げたり、渕上舞さんの車内アナウンスも録音したりと、自ら進んでやっていましたね（笑）。

――実際にバスを運行してみて、お客さんの反応はいかがでしたか？

バスの外側だけでなく、中にもキャラクターの顔のシールが貼ってあることは、ファンのツイッターで初めて知りました（笑）。最初は恥ずかしいと言っていた運転手も、放映が始まって話題になっていくにつれ、得意げになってきました（笑）。写真を撮られたり、自転車に追いかけられたり、第3話くらいから火がつき始めましたよね。早い段階でファンが注目してくれるようになって、ありがたかったですね。



ラッピングバス参上　霞が関に衝撃走る!!

――当時の思い出深いエピソードはありますか？

酒の席で、「観光庁主催の企画（第1回「今しかできない旅がある」）に応募するんだ。受賞したらラッピングバスで授賞式に乗り込もうぜ」なんて言ってたんです。そうしたら奨励賞の受賞が決まったのですが、社員に「あのバスは排ガス規制で都内に入れませんよ」と言われて。それで2号車を作ることになりました。



けれど予算が足りない。そのとき、常盤さんとバンダイビジュアルさんから協力を申し出ていただいて実現の運びとなったんです。それが授賞式の2週間前。ラッピング審査を通すための時間がなかったんです。でも審査員の尽力もあって、無事に2号車は授賞式に間に合いました。

2号車をラッピングするときは、フィールさん（ガルパン公式ラッピングシート販売・ラッピング作業を手がけている）全面協力のもと、車内装飾や清掃をKGOが手伝ってくれました。本当に皆さんの力で作り上げたという感じがします。それもガルパンに「なんとかしよう」と思わせる力があったからでしょうね。このアニメに賭ける人々の熱意が、そういう動きと結果に繋がったと思うんです。

観光庁を所管する国交省に、ラッピングバスで乗り付けたときは痛快でしたね。2位の奨励賞をいただいたんですが、大賞よりも注目を集めていましたから。観光庁の長官室では、イベント恒例の「パンツァーフォー」まで、長官と一緒にやらせていただきました。観光庁にバスで乗り込めたのは、当時、茨城県庁観光物産課の課長だった清瀬一浩さんの尽力で実現できたんです。清瀬さんから、バス前方の電光掲示板に「祝奨励賞受賞」の字幕を入れてくださいよ、と言われていたんですが、式当日にそれを実現できました。少しは恩返しができたかな、と思っています。

その後、7月の「さんふらわあ北海道イベント」で、2号車を北海道に持ってきてくれないかという打診もありましたね。せっかくファンの方々が北海道まで来てくれるというので、ベテラン運転手と一緒に派遣しました。われわれも楽しんでいました。

――「大洗春祭り 海楽フェスタ2014」での落書きバスの経緯は？

このころになると、うちの社員たちが主導でイベントを進めていました。社を挙げてガルパンを応援しようという気風になっていました。当日は雨だったので、インクののりが悪くて、今ではだいぶ色が薄くなってしまいました。そのため、もう少ししたら消さざるを得ないのですが、またイベントなどで使えたらいいと思っています。

――今後どういった形で関わっていきたいですか？

われわれはバス会社なので、またファンの皆さんに喜んでもらえるようなことができればやっていきたいと思っています。自分たちのアイデアだけではなく、皆さんからの提案も実現可能なものなら叶えていきたいですね。常盤さんから私によく電話がかかってくるんです。今度はどんなことを言われるんだろうと、ドキドキしてしまいますね。普通のお願いの中に、たまに重い案件が入ってくるので（笑）。

今ガルパンは、様々な展開がありますが、われわれはバス会社としてできることをやっていきます。出過ぎてはいけないですし、あくまでもガルパンを盛り上げる風景のひとつとして存在すればいいと考えています。

――ファンの方々へメッセージを

ガルパンを制作している方々、まわりで応援している方々の遊び心を大切にしながら、われわれも楽しんでいます。気軽に乗りに来てください。そしてイベントにも気軽に参加してもらえればいいと願っています。みんなでお待ちしています。

Girls und Panzer Style

ガルパン流 戦車の楽しみ方

戦車を楽しむには、やはり模型が一番。そこで、5月15〜18日に行われた「第53回 静岡ホビーショー」に潜入。戦車模型の魅力とガルパンが業界に与えた影響を、関係者にお聞きしました。

奥深い戦車模型の世界をのぞいてみよう！

ここがオススメ 常務 二神泰徳さん

今回は新作の、隊長フィギュアセットとカバさんチームフィギュアセットが、一番オススメ。ガルパン放映後から高まった、一緒に飾れるフィギュアが欲しいという声に応えて、1:35スケールに細かなディテールを込めたところがアピールポイントです。

色塗りは素体のベースが肌色なので、照明付きルーペなどを使って髪の毛や服装を、あせらずていねいに塗っていただきたいです。一番難しい目の描き込みでは、瞳デカールという便利なものが付いておりますので、かなり見栄えよく仕上げられると思います。

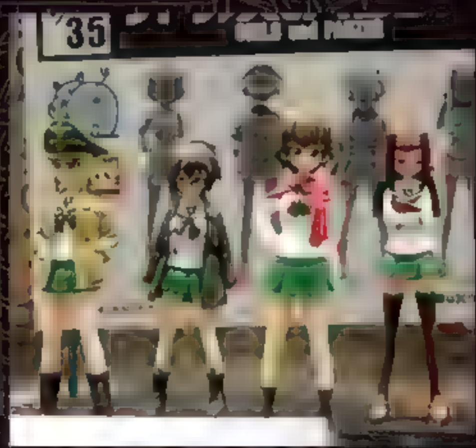
ガルパンが業界に与えた影響は、すごく大きいですね。それこそ、今まで出していたガルパンに関連する戦車キットが、どんどん売れて約十数倍の伸びを記録しました。また、今年になって地元のテレビ局に「ガルパンで」と取材を受けるなど、模型業界に対する一般の見方も変化したと感じましたね。

各メーカーさんの新製品を紹介！

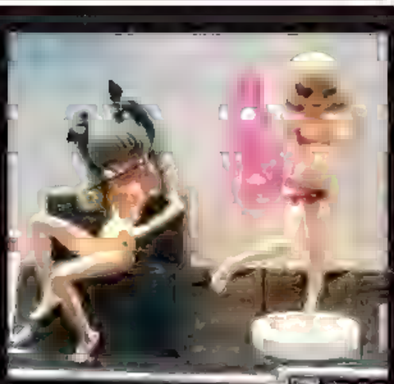
プラッツでは1：35スケール戦車に合わせた、ヒロインたちの新たなフィギュアセットを発表。その精巧な造形で、集まったファンの目を奪っていた
http://www.platz-hobby.com/



隊長フィギュアセット
ダージリン・ケイ・アンチョビと、大洗女子のライバルとなった隊長が集結。各校の戦車と一緒に飾って欲しい
●6月発売予定 ●4,400円（税抜）



カバさんチームフィギュアセット
アレンジされた制服姿が、見事に再現された歴女チーム。りりしくも独特な雰囲気で、今にも歩きだしそうだ
●6月発売予定 ●5,800円（税抜）



[illegible]月に一般発売された1/35 [illegible]アンチョビとカ[illegible] [illegible]の水着[illegible] [illegible]レジン製[illegible]ので、初心者でも安心なキットとなっている



[illegible]で発売された[illegible]キット[illegible]まだ[illegible]の完成度で発売が楽しみな製品だ



ずらりと並んだ、プラッツが贈る1/35スケールのプラスチックモデルシリーズ。[illegible]

ここがオススメ 営業・広報担当 熊澤弘さん

私たちはもともと、旧日本軍の戦車を手がけてきて、最近では陸上自衛隊の車輌にもシフトしています。その流れで、大手メーカーさんがなかなか手がけない、61式戦車の製品化はファンにも喜んでいただけるかと思いました。

作り方としてはそれこそ、パーッと作ってダーッと塗って、ドーンとジオラマにしてしまえばいいんです（笑）。説明書通りに作っていけば、きれいに完成するように配慮しています。塗装はいきなりプロ級をイメージせず、難しいという先入観を捨てて自分なりの作品を目指して欲しいですね。

私たちの八九式は、史実に基づいたパッケージング商品は存在しないという、実在した戦車のプラモデルとしてはイレギュラーな存在だと思います。ですが、ファンの皆さんのおかげで、継続して提供できる。しかもバレー部チームの声優さんたちも、八九式中戦車を作れられている。ガルパンのおかげで、模型と声優さんたちを繋げることができて非常に幸せでした。

日本の戦車を数多く手がけるファインモールドは、完全新金型で61式戦車をキット化。形状確認用に3Dプリンタにて出力した、モックアップを展示
http://www.finemolds.co.jp

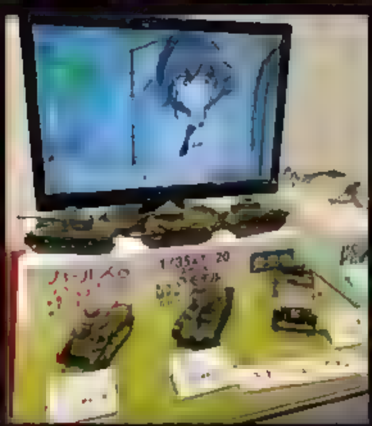




陸上自衛隊 61式戦車
1961年に正式採用された、戦後初の国産戦車。こだわり抜いたディテールで、往年の名戦車が1:35スケールで蘇る
●7月下旬発売予定 ●4,800円（税抜）







OVAのPVが上映されるガルパンのブースでは、八九式中戦車など、おなじみの戦車が展示されていた

ここがオススメ　社長室 高久裕輝さん

figmaでは現在、西住みほと秋山優花里が発売中で、順次あんこうチーム5名を揃えていきます。それぞれにⅣ号戦車の内部パーツを付属して、戦車内での動きを楽しめる内容になっています。さらに1:12のⅣ号戦車D型を、塗装済み完成品にて開発中で、驚くべき低価格で提供できるようがんばっています。

Ⅳ号戦車D型はそのまま飾ってもいいのですが、ディテールアップしたいモデラーさんにも配慮した形を考えています。また、何とか動きのギミックを盛り込めるよう現在調整中です。皆さんで、いろいろな遊び方ができるよう提案できればと思っています。

もしガルパンがなければ、ここまで戦車模型業界が盛り上がることはなかったと思います。Ⅳ号戦車を知らない方でも、西住みほが搭乗したキャラクターモデルとして愛着を持ってくれる。こういうモノ作りができると気づかせてくれた点でも、大きな意味があったと思います。



マックスファクトリー

figmaシリーズを展開するマックスファクトリーは、あんこうチームと現在商品化が進行中のⅣ号戦車D型を展示。1:12スケールの迫力に注目！

http://www.platz-hobby.com/

figma ガールズ&パンツァーシリーズ

オリジナルの関節パーツで、どんなポーズもきちっと決まるfigmaシリーズ。各ヒロインの名シーンを、ぜひ再現して欲しい

- ●西住みほ｜●発売中｜●4,444円（税抜）
- ●秋山優花里｜●6月発売予定｜●4,444円（税抜）
- ●武部沙織｜●7月発売予定｜●4,444円（税抜）
- ●五十鈴華・冷泉麻子｜●発売日未定｜●価格未定




ガルパン以外でも、1:35現用ロシアタンククルーのフィギュアセット2種を展開。各3,000円で、先行販売されていた

そのほかの注目グッズ

バンダイホビー　Bトレインショーティー 鹿島臨海鉄道 6000形 ガールズ&パンツァー ラッピング列車 2号車



●8月発売予定　●2000円（税抜）

トミーテック　ザ・バスコレクション 茨城交通 ガールズ&パンツァーバス2号車



●7月発売予定　●3800円（税抜）

モデラーさんに戦車模型の楽しみ方を聞いてみました



レトロなボンネットバスにモデルカステンのデカールを貼ったべすぱさんの作例



Fanksさんが制作した、キャラグミン「秋山優花里水着ver.」。水着に迷彩を入れただけで見栄えが大幅にアップ



今回、お話を伺ったべすぱさん（右）とFanksさん（左）。ガルパンと出会う前は、飛行機模型を中心に製作していたという



Fanksさんの、プラッツ1:35Ⅳ号戦車D型。みほの人形が、かわいらしく飾られている



ここがポイント　YDCC べすぱさん Fanksさん

べすぱ　ガルパンが始まる前は、飛行機の模型しか作っていなかったんです。でも戦車は飛行機と違って、水平をきっちり出さなくてもいいので取り掛かりやすいですね。それにちょっと失敗しても汚しを入れればいいので、完成まで持ち込めるんです。ボンネットバスのライトには、ネイルアートなどに使うライトストーンを使っています。クリアパーツに色塗りする手間を考えると、だいたい10分の1くらいの労力で済んでしまうんですよ。

Fanks　男性では考えつかないアイデアですよね。僕も飛行機模型の人でしたが、ガルパンがきっかけで戦車模型を始めたんです。でも戦車は、組み上げてから塗装ができたりと、飛行機より確実に早く作れるんです。あとガルパンに出会ったことで、戦車がアムロの搭乗するガンダムと同じ、キャラクターモデルの感覚になっちゃいました。ガルパンのおかげで、新しい世界が広がった感じです。

静岡ホビーショーとは?



主要模型メーカーを中心に約80社が出展する、国内最大級の模型展示イベント。53回目となる今年は5月15～18日の4日間、ツインメッセ静岡にて開催。国内外のバイヤーはもちろんのこと、全国から7万人を超える入場者が集まった

時期	毎年５月
場所	静岡県静岡市　ツインメッセ静岡
主催	静岡模型教材協同組合
HP	http://www.hobby-shizuoka.com/

OVA劇場前売り券お渡し会実施!



5月17日には中村桜さん(佐々木あけび役)による、OVA劇場前売り券のお渡し会が開催。受け渡し場所のモデルカステンブースには、大勢のファンが集まった。また、OVAで考証・スーパーバイザーを務める吉川和篤さんも駆けつけ、イベントを楽しんでいた





それいけ！ガルパン料理道

●今回のテーマ●
あんこう焼き&戦車クレープ

ガルパンのなかでは登場しなかったが、今やあんこう焼きと戦車クレープは、大洗町のソウルフード的な存在。その熟練した料理人たちの技と作り方を紹介します。

一見すると、普通の大判焼きと思われがちなあんこう焼き。だが、おいしく提供するために、調理にはさまざまな気遣いが隠されていた。あんこう焼きコーナーの高柳美恵子さんによると、とくにいも餡の管理には細心の注意が払われているという。

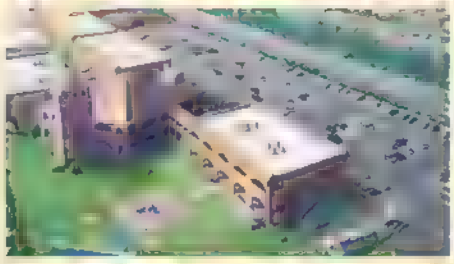
「いも餡は業者さんに頼んで、手作りのものを用意していますが、デリケートな食材なので、時間が経つと酸味が出てしまうんです。そのため、店頭に用意していた分がどんなに残っていても、酸味が出たら全部捨てて新しいものを出しているんです」

また戦車クレープでもきらきらクレープの小野瀬恭弘さんが、熟練した技を発揮。約2～3分程度の早業で実際に戦車クレープを作り上げた。また取材中もひっきりなしで訪れるお客さまに、笑顔ですばやく各種クレープを提供していた。

「クレープを焼けるようになるまで、毎日2～300枚を、1週間焼き続けましたね」（小野瀬さん）

技と創意工夫がこらされた、あんこう焼きと戦車クレープ。ぜひ皆様にもご家庭で試していただき、大洗町に思いを馳せてもらいたい。







大洗まいわい市場

HP：https://www.oarai-maiwai.com/
住所：大洗町港中央 11-2（大洗リゾートアウトレット内 1F）
電話：029-266-1147
営業時間：全日・10:00～19:00（あんこう焼きコーナーは16:00終了）
※終了時間は、季節により変わる可能性がございます

あんこう焼きのほか、第1話に登場した74アイスも楽しめる、まいわい市場内のお店。店舗の隣には、ガルパン関連グッズやお土産コーナーがある







カリっと
ふっくら

おいしいあんこう焼きの作り方

教えてくれた方 **大洗まいわい市場 高柳美恵子さん**



生地の材料は、新潟産コシヒカリの米粉と卵。それに、市販されていない液体ショートニング・デリドール油や水、秘密の粉が加えられる。平日だと、3キログラムほど作るが、大きなイベントがあると約20キログラムに増えるそうです。



生地ができたら、焼き型に油を塗って手早く流し込んでいきます。なお、生地を入れる前に余分な油を拭き取ることも大切。油が残っているとそこから水泡が生じてしまい、焼きあがった生地の表面に、気泡が生じてしまいます。



焼き型に生地を入れたら、すぐにいも餡を乗せます。そして、この状態で約3分間加熱。表と裏を合わせた後も、3分ほどじっくりと焼いていきます。そして焼く作業には、集中力が必要。焼き型もかなり重いため、体力も使います。



最後に、周囲にできたバリをハサミできれいに切り落とし、みほの焼印を入れて完成。できたてのあんこう焼きは、アツアツのいも餡とふっくらした生地が絶妙にマッチ。それでいて表面はカリッとしているので、多彩な食感が味わえます。

プロが教えてくれる おいしさの秘密

あんこう焼きの表面がカリッと仕上がる理由は、生地にまぜる特別な粉のおかげ。内容は秘密だが、米粉だけで焼いた時より、格段にカリカリ感が増していくそうだ。また、いも餡のレシピも重要な企業秘密。「ご家庭では、ホットケーキミックスを使っていただければお手軽だと思います。また中身は、市販の小倉あんを挟んでいただければと思います」(高柳さん)



スペシャルレシピ 戦車クレープの作り方



教えてくれた方 **きらきらクレープ 小野瀬恭弘さん**



生地を作ったら、焼き機の上に適量を流して、すばやくクレープ用のヘラで広げていきます。焼き上がりの目安は、生地表面から立ち上がる湯気が落ち着いてきた時。そしてひっくり返して、裏面を少しだけ焼いていきます。



戦車パフェの場合、中身は生クリームとアーモンド、細かいチョコチップにチョコソース。ベースになる生クリームは、T字にトッピングしていきます。そして生地を下から半分に折って、左端から円錐形になるように巻いていきます。



戦車の車体にはブラウニーケーキを使用。バランスよく乗せないと、傾いてしまうことがあります。砲塔部分や動輪はバナナで表現。砲身部分は、市販のクッキー菓子を適度な長さに切って、砲塔のバナナに取り付けて完成です。

プロが教えてくれる おいしさの秘密

戦車クレープは、小野瀬さんが思いついたイメージを、そのまま形にしたという。「生地は、ホットケーキミックスが一番失敗しないと思います。また、卵や牛乳の量を変えることで、味わいも違ってきます。トッピングも、いろいろと試していただくと楽しいですね」(小野瀬さん)

きらきらクレープ

HP：http://www.oarai-outlet.com/
住所：大洗町港中央11-2(大洗リゾートアウトレット内1F)
電話：029-264-9123(代表)
営業時間：全日・10:00～19:00
※終了時間は、季節により変わる可能性がございます

地元の無農薬フルーツや食材を使用した、20種類以上のクレープが楽しめるお店。店舗の裏に設けられた、大きな戦車のオブジェが圧巻である







■表紙の戦車
アンツィオ高校
P40 型重戦車

所属：アンツィオ高校
生産：イタリア
製造：フィアット・アンサルド社

CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：大石樹（スタジオ・ちゅーりっぷ）

企画・編集・執筆
湯原隆幸（バンダイビジュアル）
杉山潔（バンダイビジュアル）
小牧雅伸（スタジオ小牧）
千手創壱（スタジオ小牧）
鈴木貴昭
岡田邦彦
糟谷富美夫
吉川和篤
モリナガ・ヨウ

執筆・編集協力
塩田昌之

写真提供
グランドパワー（ガリレオ出版）
吉川和篤
高橋亘（大洗まいわい市場）
痛車グラフィックス（芸文社）
日宣メディックス

カバー・本文デザイン
原田美穂（OverDriveDesign）
浜岡弘臣（OverDriveDesign）
中村浩樹（OverDriveDesign）

協力
バンダイビジュアル　バンダイナムコゲームス
アクタス　ランティス　国際通信社
グラフィニカ　スタジオ・ちゅーりっぷ
マウスプロモーション　茨城交通　水戸ホーリーホック
プラッツ　ファインモールド　マックスファクトリー
トヨタ　フィール　大洗町商工会
常盤良彦（クックファン・大洗まいわい市場）
高柳美恵子（大洗まいわい市場）
小野瀬恭弘（きらきらクレープ）
大洗町の皆さま　ガリレオ出版　YDCC の皆さま
吉川和篤

発行日　2014 年 6 月 20 日
発行人　前田明雄
発行所　バンダイビジュアル株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 4-12-4
http://www.bandaivisual.co.jp/
印刷所　株式会社テンプリント

【バンダイビジュアル お客様センター】
TEL：03-5828-7582
受付は月曜日から金曜日までの午前 10 時から午後 5 時まで
（祝日、年末年始を除く）

TU-0272

月刊 戦車道

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第3号

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第4号 次回予告

激戦必至！ 黒森峰相手にダージリンが考えた作戦とは!?

連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

ヨーグルト学園との試合を制したダージリンは、最大のライバルである黒森峰と対峙。パンターやティーガーなど、強力な戦車を揃えた黒森峰に、ダージリンは果敢に挑んでいく！




アリクイさんチームの過去が語られる **大洗女子チームの日常**




オンライン戦車ゲームで、協力プレイを楽しむ 3 人。だんだん自信がついてきた彼女たちは、大洗女子の試合を観戦したことをきっかけに、本物の戦車を操縦したいと思い始める

強豪・プラウダ高校の秘密に迫る!
ライバルチーム研究

前回大会の優勝校であるプラウダ高校。ソビエト製戦車を駆使する同校の戦術と校風を、徹底的に解説します



戦車道の知識を深める情報が満載

- グラフィック イン アクション
- 大洗女子チームの日常
- 大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
- ガルパン トピックス
- ガルパン メイキング ログ
- ガルパン・イベントレポート
- プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
- ガルパン流 戦車の楽しみ方
- それいけ! ガルパン料理道



痛!

ガルパン公式痛車コレクション

Ita-Colle



これまでに制作された、さまざまな公式痛車やラッピング車輌をすべて網羅。個性的かつアイデアにあふれた、痛車の数々をお楽しみあれ!

トヨタ



ヴィッツ

こちらもプリウスと同様、海楽フェスタで初公開。ピンクを基調としたデザインの同車も、渕上さん仕様のカーナビ付きで1台だけ販売された



プリウス

2013年3月24日の海楽フェスタで、初公開された公式痛車。当時は渕上舞さんの声を収録したカーナビを装着して、1台限りが販売された



スペイド

2013年4月3～9日の間、アムラックス東京でタイムレンタルされていた痛車。当時は大きな反響を呼び、予約困難な状態が続いたという



G's ヴィッツ

初のガルパン公式痛車。2013年1月19～2月11日、池袋・アムラックス東京(現在は閉館)で展示。今となっては、幻の痛車と言えるだろう

鹿島臨海鉄道 ラッピング列車



2号車

1号車に続いて、2013年11月に制作された2号車。側面にはあんこうチームほか、ダージリンやケイなどのライバルヒロインが貼り込まれている



1号車

2012年11月18日のあんこう祭に合わせて制作された列車。当日朝のお披露目式では、渕上さんが出席して仕上げの転写シールを貼り込んだ

ファインモールド



ウィルスMB

ファインモールド社長の愛車、1942年式ウィルスMBを痛車化。各模型イベントで展示されている

茨城交通 ラッピングバス&落書きバス



落書きバス

2014年3月30日の海楽フェスタで、左側面を訪れたファンに落書きしてもらったバス



2号車

2013年6月、「今しかできない旅がある」の受賞式に乗り付けるため、急遽制作されたバス



1号車

2012年11月23日、あんこう祭で初お目見えしたバス。現在も、大洗町などの路線にて運行中

レンタカーサービスグループ



カバさんチーム

あんこうチームと同様、水戸駅前店でレンタル中。2台とも近日中に、水戸赤塚店でも取り扱い予定



あんこうチーム

レンタカーサービス水戸・水戸駅前店で取り扱っている痛レンタカー。現在も、好評貸し出し中

グリーン交通 大洗観光タクシー



あんこうタクシー 2号車

1号車と同じく、2014年4月下旬にバージョンアップ。2台とも、大洗町にて運行している



あんこうタクシー 1号車

2014年4月下旬より、バージョンアップした1号車。オレンジを基調としたデザインがキュート

日照プラント



IV号戦車

軽トラックをベースに、実車の4分の3サイズで制作。2013年のあんこう祭で、初めて展示された

大洗まいわい市場



業務用車

2013年11月17日のあんこう祭で、制作実演を披露。その後は、業務用として使用されている

フィール



社用車

ベース車はBMWという、公式ラッピングシート販売・ラッピング作業を手がけるフィールの痛車

日宣メディックス



いばナビ ガルパン痛車

茨城県の地域情報サイト「いばナビ」の痛車。2012年の、あんこう祭で初披露された

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
月刊 戦車道 特別編集
月刊 戦車道 第63回 戦車道全国高校生大会 増刊第3号
●発行：財団法人 日本戦車道連盟 Tel.1000-100-5050
●編集：月刊戦車道 編集部
●発売・販売元：バンダイビジュアル株式会社

TU-0272

